

倉敷市立自然史博物館報

34

(令和6年度)

第33回特別展

ぼくらのまちの
みどりの
7つの

ちとせくん

みんなの
むしとみどりの
サロン

主まている昆虫と植物を一緒に展示します
特別展と合わせて楽しもう！
【7月21日(日)
～8月25日(日)】
※休館日はお
8月10、11、18日は除く

2024
7.20(土)
～10.14(月祝)

しらからん

倉敷市立自然史博物館

倉敷市中央2-6-1
TEL 086-425-6037

高梁川流域連携中枢都市圏事業

倉敷市立自然史博物館

令和7年7月1日発行

目 次

I 資料収集保管事業

1	寄贈標本	1
2	館員による採集	3
3	購入	3
4	交換	3
5	寄託	3
6	受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳	4
7	二次資料	4
8	登録済み資料点数	5
9	標本・資料整理ボランティアの活動	5
10	博物館のお宝探検	6
11	館外者による収蔵資料の利用	6
12	収蔵資料を活用した業績	6
13	収蔵設備（備品等）の充実	7
14	収蔵庫の燻蒸	7

II 調査研究事業

1	機関研究	7
2	分野別研究テーマ	7
3	研究業績などの公表	7
4	査読	10

III 展示事業

1	常設展	10
2	特別展	10
3	特別企画展	11
4	特別陳列	11
5	ミニ水族館の展示	12
6	常設展示の更新	12
7	生きた動植物の展示	12
8	恐竜のぬり絵	12
9	まちかど博物館	12
10	他館展示協力	12
11	展示用模型の製作	12

IV 教育普及事業

1	自然観察会	13
---	-------	----

2	博物館講座	14
3	特別展・特別企画展・特別陳列関連イベント	14
4	自然の標本なんでも相談会	14
5	地学教室	14
6	むしむし探検隊	14
7	自然素材を使った手作り教室	14
8	こどもの日スペシャル	14
9	第24回 自然史博物館まつり	14
10	出版物	15
11	レファレンス	15
12	博物館実習生等の受け入れ	15
13	講師派遣	15
14	マスコミ報道	16
15	学習用貸出標本の利用	17
16	倉敷市立自然史博物館友の会の活動	17

V 庶務

1	沿革	19
2	各室現有面積	19
3	組織	20
4	委員、役員委嘱	20
5	会議等派遣	21
6	広報活動	21
7	職員の研修参加	21
8	無料開放	22
9	表彰等	22
10	予算・決算	22
11	年間利用者数	23

倉敷市立自然史博物館中期計画の点検	24
倉敷市立自然史博物館条例	25
倉敷市立自然史博物館条例施行規則	26
利用案内	26
倉敷市立自然史博物館の運営方針	27
倉敷市立自然史博物館の資料収集方針	27

I 資料収集保管事業

1 寄贈標本（敬称略）

(1) 地学分野（6 件 計57点）

5 月 15 日	鉱物・岩石標本	50 点	舟橋澄江
8 月 27 日	ナウマンゾウの化石	1 点	東谷香保子
11 月 15 日	黄銅鉱、磁硫鉄鉱、孔雀石	3 点	武智泰史
11 月 26 日	鉄鉱石	1 点	武智泰史
12 月 20 日	玄武岩	1 点	鐵慎太郎・鐵ちひろ
2 月 8 日	軽石	1 点	岡本泰典

(2) 植物分野（63件 計約6,493点）

4 月 16 日	ハチク	2 点	遠藤堯之
5 月 9 日	日本産維管束植物	56 点	溝手啓子
5 月 9 日	倉敷市産維管束植物	1 点	裾分由美子
5 月 9 日	岡山県産維管束植物	41 点	小橋理絵子
5 月 15 日	オキナグサ	1 点	稲神邦代
5 月 18 日	倉敷市産維管束植物	3 点	鐵慎太郎
5 月 21 日	岡山県、滋賀県、三重県産維管束植物	27 点	溝手啓子
6 月 12 日	岡山県産維管束植物	2 点	和田 優
6 月 12 日	タツナミソウ類	1 点	裾分由美子
6 月 13 日	笠岡市産維管束植物	14 点	鐵慎太郎
6 月 19 日	オニフスベ	2 点	横田眞雄
6 月 22 日	岡山県産維管束植物	9 点	裾分由美子
6 月 23 日	ハマツメクサ	1 点	鐵慎太郎
6 月 23 日	新見市産維管束植物	13 点	鐵慎太郎
7 月 15 日	広島県産維管束植物	24 点	鐵慎太郎
7 月 25 日	笠岡市産維管束植物	13 点	鐵慎太郎
7 月 28 日	新見市産維管束植物	7 点	鐵慎太郎
8 月 7 日	岡山県産維管束植物	10 点	坂本龍希
8 月 7 日	岡山県産維管束植物	10 点	友清花架
8 月 8 日	岡山県産維管束植物	8 点	裾分由美子
8 月 9 日	岡山県産維管束植物	28 点	地職 恵
8 月 11 日	岡山県産維管束植物	3 点	和田 優
8 月 11 日	岡山県産維管束植物	31 点	片岡博行
8 月 11 日	岡山県産維管束植物	11 点	小橋理絵子
8 月 18 日	日本産維管束植物	35 点	岡本泰典
8 月 18 日	タンポポ属	2 点	日朝直樹
8 月 27 日	国内産植物標本	131 点	狩山俊悟
8 月 28 日	ツルノゲイトウ	2 点	窪津浩二
9 月 5 日	兵庫県産維管束植物	3 点	鐵慎太郎
9 月 14 日	香川県産維管束植物	1 点	鐵慎太郎
9 月 14 日	ネナシカブラ	1 点	稲神邦代
9 月 14 日	冬虫夏草	1 点	安達由莉
10 月 9 日	岡山県産維管束植物	22 点	鐵慎太郎
10 月 9 日	コスモス	1 点	佐藤晃一

10 月 10 日	岡山県産維管束植物	22 点	裾分由美子
10 月 10 日	日本産維管束植物	58 点	溝手啓子
10 月 18 日	岡山県産維管束植物	2 点	射場石成
10 月 22 日	カエンタケ	1 点	池本茂豊
10 月 26 日	アメリカスズメウリ	4 点	川崎嘉子
10 月 26 日	岡山県産水生植物	11 点	岡田智子
11 月 7 日	岡山県産維管束植物	8 点	裾分由美子
11 月 9 日	岡山県産維管束植物	9 点	小橋理絵子
11 月 21 日	ミョウガ果実・種子	1 点	小橋理絵子
12 月 25 日	フトボメリケンカルカヤ	2 点	鐵慎太郎
12 月 26 日	瀬戸内産維管束植物	9 点	鐵慎太郎
12 月 26 日	国内産植物標本	117 点	狩山俊悟
1 月 9 日	日本産維管束植物	25 点	藤井俊夫
1 月 29 日	備前市産維管束植物	7 点	鐵慎太郎
1 月 29 日	モクビャッコウ	1 点	鐵慎太郎
2 月 6 日	岡山県産維管束植物	19 点	裾分由美子
2 月 13 日	岡山県産維管束植物	1 点	稲神邦代
2 月 13 日	日本産水生植物	6 点	守安 敦
2 月 13 日	トチュウ果実	1 点	坪田勝次
2 月 13 日	国内産植物標本	152 点	狩山俊悟
2 月 14 日	ブナ科堅果	3 点	鐵慎太郎
2 月 15 日	倉敷市産維管束植物	7 点	鐵慎太郎
2 月 15 日	山口県産維管束植物	13 点	鐵慎太郎
3 月 6 日	日本産維管束植物	43 点	溝手啓子
3 月 6 日	沖縄県産維管束植物	20 点	鐵慎太郎
3 月 6 日	浅口市産維管束植物	4 点	鐵慎太郎
2 月 11 日	維管束植物種子・果実標本	約500点	鐵慎太郎
3 月 30 日	植物レプリカ参考標本	2 点	西尾製作所
3 月 12 日	日本産ヤナギ科植物	4,928 点	片山 久

(3) 昆虫分野（72件 計約871点）

4 月 16 日	岡山県産昆虫類	1 点	江田伸司
4 月 26 日	岡山県産昆虫類	1 点	鐵慎太郎
4 月 27 日	日本産昆虫類	5 点	山下 純
5 月 10 日	日本産昆虫類	12 点	安田剛長
5 月 10 日	日本産昆虫類	3 点	中村 涼
5 月 11 日	岡山県産昆虫類	1 点	奥島雄一
5 月 18 日	岡山県産昆虫類	5 点	奥島雄一
5 月 24 日	岡山県産昆虫類	12 点	白畑智恵美
5 月 25 日	岡山県産昆虫類	1 点	小橋理絵子
5 月 28 日	岡山県産昆虫類	1 点	山地 治
6 月 2 日	岡山県産昆虫類	1 点	小宮柊太・莉奈・颯太

6 月 18 日	岡山県産昆虫類	1 点	稲神邦代	11 月 24 日	外国産昆虫類	7 点	藤岡昌介
6 月 18 日	日本産昆虫類	1 点	江田伸司	11 月 26 日	外国産昆虫類	11 点	安藤清志
6 月 20 日	岡山県産昆虫類	1 点	奥島雄一	11 月 27 日	日本産昆虫類	9 点	野中俊文
6 月 22 日	岡山県産昆虫類	1 点	難波裕之	11 月 30 日	日本産昆虫類	9 点	山地 治
6 月 29 日	日本産昆虫類	1 点	松山龍法	11 月 30 日	外国産昆虫類	1 点	菰口航太
7 月 12 日	奈良県産昆虫類	4 点	藤本徹哉	12 月 07 日	岡山県産昆虫類	3 点	山地 治
7 月 13 日	岡山県産昆虫類	1 点	小野淳平	12 月 14 日	岡山県産昆虫類	1 点	稲神邦代
7 月 17 日	岡山県産昆虫類			12 月 20 日	沖縄県産昆虫類	75 点	花谷達郎
		約 110 点	武田寛生	12 月 20 日	日本産昆虫類	155 点	渡辺昭彦
7 月 21 日	岡山県産昆虫類	17 点	北野哲也	2 月 19 日	山口県産昆虫類	1 点	鐵慎太郎
7 月 23 日	岡山県産昆虫類	1 点	池田愛奈	3 月 23 日	奈良県産昆虫類	4 点	藤本徹哉
7 月 24 日	日本産昆虫類	1 点	原 浩一				
7 月 24 日	岡山県産昆虫類	2 点	難波稔明	(4) 動物分野 (51 件 計約 215 点)			
7 月 28 日	日本産昆虫類	2 点	安田剛長	4 月 5 日	ヤマドリはく製	1 点	岡 直子
7 月 30 日	岡山県産昆虫類	1 点	江田伸司	4 月 18 日	キジはく製	1 点	千田裕優
8 月 4 日	岡山県産昆虫類	1 点	鐵慎太郎	5 月 21 日	サワガニはく製	1 点	力石眞弘
8 月 4 日	岡山県産昆虫類	1 点	溝手啓子	5 月 22 日	スナメリ	1 点	太田日出明
8 月 4 日	岡山県産昆虫類	1 点	中西正憲	5 月 24 日	キダコウツボほか	3 点	臼井 優
8 月 6 日	岡山県産昆虫類	1 点	奥島雄一	6 月 2 日	貝殻標本	9 点	中山正一
8 月 6 日	岡山県産昆虫類	1 点	宮本悠希	6 月 8 日	(カメ類) クサガメ	1 点	溝手啓子
8 月 6 日	岡山県産昆虫類	1 点	大山望実	6 月 12 日	はく製 (タイマイ、コウライキジ)		
8 月 6 日	岡山県産昆虫類	1 点	秦 英夫			2 点	池田早央里
8 月 6 日	日本産昆虫類	3 点	小野淳平	6 月 20 日	イソヒヨドリほか	6 点	藤木精二
8 月 6 日	岡山県産昆虫類	4 点	安田剛長	6 月 25 日	スナメリ	1 点	奥西重裕
8 月 20 日	岡山県産昆虫類	1 点	竹吉栄太	7 月 3 日	ワニはく製	1 点	高本勲子
8 月 21 日	岡山県産昆虫類	4 点	池田愛奈	7 月 17 日	タカサゴキララマダニ		
8 月 23 日	外国産昆虫類	96 点	新里達也			4 点	奥島雄一
8 月 25 日	岡山県産昆虫類	1 点	稲神邦代	7 月 21 日	ミシシippアカミミガメ		
8 月 25 日	岡山県産昆虫類	1 点	水川美歩			1 点	裾分由美子
8 月 27 日	岡山県産昆虫類	1 点	雪本春弘	7 月 31 日	ヤマドリはく製	1 点	佐藤文雄
8 月 28 日	日本産昆虫類	8 点	小早川雅晴	8 月 20 日	ヤギ頭骨	1 点	福田憲一
8 月 28 日	岡山県産昆虫類	1 点	木村ヒサ子	8 月 27 日	タイマイはく製、サンゴ		
8 月 30 日	岡山県産昆虫類	1 点	磯野裕昭			2 点	東谷香保子
9 月 5 日	岡山県産昆虫類	4 点	三上美姫	8 月 27 日	モグラ	1 点	八田奈穂
9 月 5 日	日本産昆虫類	1 点	鐵慎太郎	8 月 27 日	ニホンザリガニほか	4 点	中田和義
9 月 10 日	岡山県産昆虫類	2 点	安田剛長	8 月 29 日	動物標本	約 100 点	
9 月 12 日	岡山県産昆虫類	1 点	高原良久				倉敷市立下津井中学校
10 月 1 日	岡山県産昆虫類	2 点	池田愛奈	9 月 6 日	キビタキ	1 点	藤原利香
10 月 5 日	岡山県産昆虫類	2 点	千田喜博	9 月 13 日	哺乳類の骨	1 点	杉本紀明
10 月 8 日	岡山県産昆虫類	1 点	藤井輝伸	9 月 14 日	動物はく製	3 点	
10 月 12 日	岡山県産昆虫類	2 点	橋本智明				倉敷市立下津井西小学校
10 月 14 日	外国産昆虫類	2 点	奥島雄一	10 月 16 日	オオサンショウウオ	1 点	
10 月 15 日	岡山県産昆虫類	5 点	奥島雄一				岡山県高梁市立宇治高等学校
10 月 16 日	岡山県産昆虫類	4 点	神谷新治	10 月 30 日	オオサンショウウオ (ミイラ)		
10 月 17 日	岡山県産昆虫類	1 点				1 点	益田芳樹
			友森花奈・古田幸代	11 月 14 日	ソウシチョウ	1 点	牧野朋子
10 月 27 日	岡山県産昆虫類	20 点	多月秀男	11 月 15 日	チアパスメガネカイマンはく製		
11 月 10 日	岡山県産昆虫類	101 点	奥島雄一			1 点	守田 均
11 月 10 日	日本産昆虫類	1 点	秋山美文	12 月 3 日	陸ガメはく製	1 点	白髪和子
11 月 14 日	日本産昆虫類	121 点	中野一成	12 月 6 日	スナメリ	1 点	大森圭介
11 月 21 日	外国産昆虫類	10 点	Hsiao Yun	12 月 17 日	動物標本 (はく製)	2 点	中野桂子

12月17日	キョン	2点	宇佐美礼恩
12月24日	ニホンジカ	5点	
	美作市地美恵の郷みまさか		
12月24日	ニホンジカ	2点	富田一志
12月24日	ニホンジカ骨格	25点	奥島雄一
12月24日	ニホンジカ骨格	4点	奥島雄一
12月24日	トナカイ毛皮	1点	蒲生直未
12月24日	ニホンジカ骨格（頭部）		
		1点	國忠征美
12月24日	ニホンジカ骨格	1点	小川有一
12月24日	ニホンジカ骨格	2点	寺澤福美
12月24日	エゾシカ	1点	山崎法子
12月25日	ニホンジカ頸椎	1点	奥島雄一
1月5日	動物標本	2点	大熊庸代
1月5日	メジロ	1点	高橋佳子
1月9日	オオシロピンノ	1点	鐵慎太郎
1月10日	クロジほか	3点	江木寿男
1月13日	ニホンジカ角	1点	片岡博行
1月19日	鳥類はく製	3点	森上 光
1月28日	マナヅルはく製	1点	松枝新一
2月26日	キジはく製	1点	青井朝恵
3月22日	岡山市産鳥類（フクロウ）		
		1点	武田由美子
3月23日	日本産哺乳類はく製（ニホンジカ頭部）		
		1点	今西智恵
3月23日	千葉県産哺乳類（キョン）		
		1点	山田瑞希

4月24日	高梁市落合町原田～落合町阿部	13点
5月12日	高梁市落合町原田	4点
5月14日	久米郡美咲町	29点
5月25日	久米郡美咲町両山寺	24点
6月7日	倉敷市玉島柏島	6点
6月7日	倉敷市玉島柏島（泉川拡子）	2点
6月9日	笠岡市北木島	16点
6月23日	倉敷市玉島柏島	2点
7月7日	新見市石蟹・哲多町花木	48点
7月23日	倉敷市連島町西之浦	1点
7月25日	倉敷市粒江種松山	4点
7月27日	倉敷市酒津	9点
8月2日	倉敷市玉島乙島	1点
8月9日	倉敷市児島由加	4点
10月20日	茨城県つくば市吾妻（鐵慎太郎）	4点
11月6日	倉敷市中央（鐵慎太郎）	2点

(3) 動物分野	計1点
5月7日 瀬戸内市牛窓町牛窓（奥島雄一）	1点

3 購入（委託製作を含む）

(1) 植物分野（1件 計2点）	
3月30日 植物レプリカ	2点 西尾製作所
(2) 昆虫分野（1件 計3点）	
11月10日 昆虫拡大模型（平成6年度製作分）	3点 西尾製作所

2 館員による採集

※受入日≠採集日の場合、採集日はカッコ内に記載。

(1) 植物分野	計58点
4月4日 倉敷市八軒屋（2024年3月31日）	2点
5月18日 美咲町両山寺（2024年5月14日）	1点
8月6日 倉敷市真備町下二万	
	（2023年11月26日） 2点
8月6日 倉敷市浅原、瀬戸内市牛窓町牛窓、	
児島味野山田町（2023年11月8日～11月25日）	23点
8月6日 倉敷市酒津八幡山（2024年7月15日）	
	1点
8月22日 倉敷市水島北春日町	
	（2024年8月22日） 19点
9月14日 倉敷市阿智（2024年9月）	1点
10月22日 茨城県つくば市吾妻	
	（2024年10月20日） 3点
10月26日 倉敷市向山（2024年10月26日）	1点
10月27日 倉敷市児島由加（2022年10月15日）	
	3点
12月26日 美咲町両山寺、岡山市北区御津宇甘	
	（2023年12月10日、2024年2月14日） 2点
(2) 昆虫分野（無記名は奥島雄一採集）	計169点

4 交換

なし

5 寄託

なし

6 受入れ点数の推移と受入れ方法の内訳

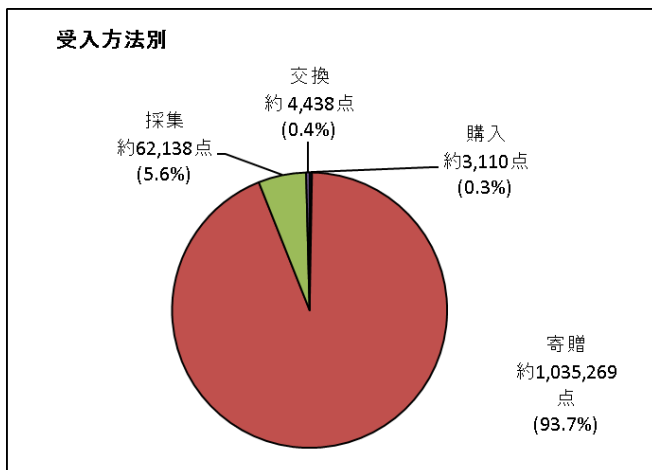
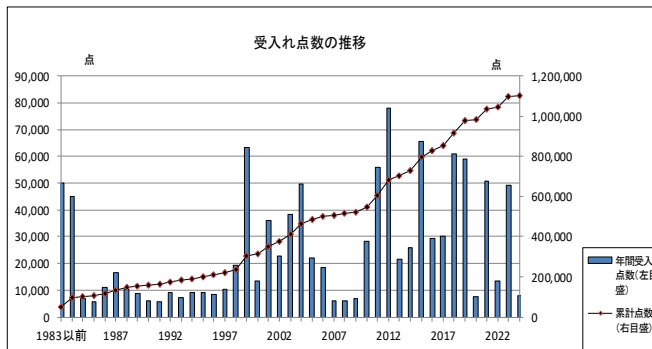
年 度	地 学	植 物	昆 虫	動 物	受入れ点数	累計点数
1983以前		50,000			50,000	50,000
1983	125	1,664	約 42,627	562	約 44,978	約 94,978
1984	67	1,530	約 1,554	3,558	約 6,709	約 101,687
1985	153	3,079	約 1,842	445	約 5,519	約 107,206
1986	約 110	約 5,299	約 2,166	約 3,679	約 11,254	約 118,460
1987	約 335	11,559	約 1,938	約 2,660	約 16,492	約 134,952
1988	6	4,145	約 3,886	約 2,448	約 10,485	約 145,437
1989	1,057	4,138	約 2,295	約 1,217	約 8,707	約 154,144
1990	5	4,226	約 484	約 1,192	約 5,907	約 160,051
1991	0	3,672	約 708	約 1,390	約 5,770	約 165,821
1992	約 19	3,759	約 4,486	約 822	約 9,086	約 174,907
1993	398	3,583	約 2,334	約 972	約 7,287	約 182,194
1994	145	3,367	約 4,891	約 703	約 9,106	約 191,300
1995	20	3,634	約 3,413	約 2,256	約 9,323	約 200,623
1996	45	6,284	約 1,883	約 36	約 8,248	約 208,871
1997	303	6,358	約 3,227	約 316	約 10,204	約 219,075
1998	763	8,945	約 9,281	約 443	約 19,432	約 238,507
1999	25	26,852	約 36,051	約 298	約 63,226	約 301,733
2000	40	12,398	約 1,062	約 16	約 13,516	約 315,249
2001	27	12,496	約 21,630	約 1,833	約 35,986	約 351,235
2002	約 1,015	8,020	約 13,385	約 442	約 22,862	約 374,097
2003	11	6,662	約 31,676	約 21	約 38,370	約 412,467
2004	約 95	6,004	約 43,298	約 165	約 49,562	約 462,029
2005	33	7,224	約 13,861	約 889	約 22,007	約 484,036
2006	18	3,652	約 13,874	約 840	約 18,384	約 502,420
2007	約 216	4,431	約 1,393	約 98	約 6,138	約 508,558
2008	58	4,484	約 839	約 542	約 5,923	約 514,481
2009	37	3,183	約 3,230	約 206	約 6,656	約 521,137
2010	約 1,008	10,346	約 16,635	約 72	約 28,061	約 549,198
2011	69	9,032	約 46,371	約 269	約 55,741	約 604,939
2012	361	約 10,801	約 63,907	約 3,123	約 78,192	約 683,131
2013	61	3,305	約 17,421	約 945	約 21,732	約 704,863
2014	約 869	約 9,062	約 15,070	約 999	約 26,000	約 730,863
2015	140	5,334	約 30,068	約 30,013	約 65,555	約 796,418
2016	約 320	約 8,570	約 10,499	約 10,094	約 29,483	約 825,901
2017	約 410	約 7,876	約 20,574	約 1,500	約 30,360	約 856,261
2018	約 4,054	約 9,002	約 45,659	約 2,187	約 60,902	約 917,163
2019	約 102	約 10,206	約 48,503	約 56	約 58,867	約 976,030
2020	0	約 2,009	約 5,578	約 41	約 7,628	約 983,658
2021	約 324	約 5,594	約 9,545	約 35,232	約 50,695	約 1,034,353
2022	1	約 8,908	約 4,438	約 82	約 13,429	約 1,047,782
2023	約 207	約 2,597	約 45,749	約 751	約 49,304	約 1,097,086
2024	57	約 6,553	約 1,043	約 216	約 7,869	約 1,104,955
合 計	約 13,109	約 329,843	約 648,374	約 113,629	約 1,104,955	

7 二次資料

(1) 寄贈者、交換先(敬称略、入力完了分のみ)

〔個人〕稲神郁代、宇野弘之、江田伸司、大屋厚夫、奥島雄一、片山久、狩山俊悟、川上節子、清水健一、武智泰史、積木久明、藤井俊夫、間野幹男、三宅誠治、杜隆史、和田薫、

〔機関・団体〕北海道博物館、帯広百年記念館、浦幌町立博物館、ひがし大雪自然館、旭川市博物館・旭川市科学館、三笠市立博物館、美幌博物館、釧路市立博物館、斜里町立知床博物館、小樽市総合博物館、苫小牧市美術博物館、根室市歴史と自然の資料館、利尻町立博物館、北見市教育委員会、北方山草会、青森県立郷土館、弘前大学白神自然環境研究所、岩手県立博物館、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団、秋田県立博物館、秋田大学大学院国際資源学部附属鉱業博物館、米沢市上杉博物館、森林総合研究所、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、那須平成の森フィールドセンター、栃木県立博物館、那須野が原博物館、ぐんま昆虫の森、群馬県立自然史博物館、下仁田町自然史館、群馬県立博物館友の会、埼玉県立川の博物館、埼玉県立自然の博物館、山階鳥類研究所、千葉県立中央博物館、千葉県立中央博物館分館海の博物館、千葉県立中央博物館房総の山のフィールドミュージアム、市立市川自然博物館、千葉県文書館県史・古文書課、東レ科学振興会、Gakken、JT 生命誌研究館、「夏休みの友」編集委員会、むし社、ポプラ社、日本博物館協会、国立科学博物館、国立科学博物館標本資料センター、清水書院、日本離島センター、河合出版、日本昆虫学会、全国科学博物館協議会、日本鯨類研究所、世界自然保護基金日本委員会、国立国会図書館、府中市郷土の森博物館、日本昆虫協会、日本文化財保護協会、東京大学総合研究博物館、東京農業大学学術情報課程、日本チョウ類保全協会、Publication Committee for the Cetacean Population Studies、目黒寄生虫館、クマヒラ・ホールディングス、日本甲虫学会、自然共生研究センター、GBIF 事務局、志賀昆虫普及社、平塚市博物館、横須賀市自然・人文博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館、日本大学生物資源科学部博物館、環境再生保全機構、観音崎自然博物館、神奈川県植物誌調査会、川崎市青少年科学館、環境省自然環境局生物多様性センター、長野市立博物館、大町山岳博物館、飯田市美術博物館、野尻湖ナウマンゾウ博物館、大町山岳博物館、長岡市立科学博物館、富山県中央植物園、富山市科学博物館、石川県白山自然保護センター、石川県ふれあい昆虫館、石川県立自然史資料館、のと海洋ふれあいセンター、福井市自然史博物館、福井県立恐竜博物館、岐阜県博物館、瑞浪市化石博物館、なごや生物多様性保全活動協議会、沼津市歴史民俗資料館、NPO 静岡県自然史博物館ネットワーク、熱川バナナ・ワニ園、浜松科学館、名古屋市環境局なごや生物多様性センター、新城市鳳来寺山自然科学博物館、豊橋市自然史博物館、豊田市矢作川研究所、三重県博物館協会、三重県総合博物館、三重自然誌の会、三重貝なかま、鳥羽



水族館、藤原岳自然科学館、滋賀県立琵琶湖博物館、京都大学総合博物館、日本地学研究会、きょうと生物多様性センター、きょうと生物多様性センター運営協議会、関西菌類談話会、大阪市立自然史博物館、大阪府営箕面公園昆虫館、関西自然保護機構、きしわだ自然資料館、ニホン・ミック、伊丹市昆虫館友の会、伊丹市昆虫館、亀岡植物誌研究会、姫路市立水族館、兵庫陸水生物研究会、兵庫県立人と自然の博物館、兵庫県植物同好会、農林水産省神戸植物防疫所、神戸女子大学、近畿植物同好会、和歌山県立自然博物館、橿原市昆虫館、鳥取県立博物館、日南町教育委員会、日本鱗翅学会中国支部、氷ノ山自然ふれあい館響の森、公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団、山陰むしの会、鳥取昆虫同好会、鳥取県生活環境部緑豊かな自然課、ホシザキグリーン財団、島根県立宍道湖自然館、島根県立三瓶自然館、(財)三瓶ワールドミュージアム財団、岡山大学文学部、岡山県立博物館、岡山県博物館協議会、岡山県教育委員会、岡山県古代吉備文化財センター、岡山県郷土文化財団、岡山の自然を守る会、津山弥生の里文化財センター、津山市教育委員会文化課、岡山淡水魚研究会、岡山商科大学学芸員課程、日本野鳥の会岡山県支部、岡山県立美術館、岡山県農林水産センター、岡山県自然保護センター、山陽新聞社販売局、鏡野町くらし安全課、岡山県環境保全事業団、岡山市デジタルミュージアム、岡山市立オリエン特美術館、林原自然科学博物館、岡山コケの会、岡山理科大学フロンティア理工学研究所、岡山理科大学植物園、半田山植物園、岡山県環境保健センター、岡山昆虫談話会、倉敷市市史編さん室、倉敷野鳥の会、倉敷市立自然史博物館友の会、倉敷市公聴広報課、高梁川流域連盟、倉敷昆虫館、浅口市寄島町アッケシソウを守る会、日本博物館協会中国支部、日本鱗翅学会中国支部、広島大学総合博物館、庄原市立比和自然科学博物館、中国電力(株)エネルギー総合研究所、広島県立歴史博物館、広島市植物公園、萩博物館、秋吉台科学博物館、美祢市歴史民俗資料館、防府市青少年科学館、山口県立山口博物館、豊田ホタルの里ミュージアム、徳島県立博物館、みんなでつくる自然史博物館・香川、香川県立ミュージアム、香川大学教育学部生物学教室、瀬戸内むしの会、日本昆虫分類学会、愛媛県総合科学博物館、久万高原町、面河山岳博物館、高知県牧野記念財団、森林総合研究所四国支所、越知町立横倉自然の森博物館、九州大学総合研究博物館、九州保健福祉大学、農林水産省門司植物防疫所、佐賀自然史研究会、天草市立御所浦白亜紀資料館、熊本博物館、熊本市立熊本博物館、宮崎県総合博物館、宮崎昆虫同好会、Deutsches Entomologisches Institut.

(2) 寄贈・交換 (入力完了分のみ)

単行書：289冊、雑誌：1,294冊

(3) 購入

[備品] 単行書：1冊

[消耗品] 単行書：25冊、雑誌：76冊

8 登録済み資料点数 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

(1) 地学	計12,833点 (内 6 年度 281点)
鉱物	2,588点 (内 6 年度 128点)
岩石	1,696点 (内 6 年度 110点)
化石	8,549点 (内 6 年度 43点)
(2) 植物	計257,578点 (内 6 年度 2,336点)
維管束植物	257,177点 (内 6 年度 2,135点)
コケ植物	200点 (内 6 年度 0点)
種子・果実	201点 (内 6 年度 201点)
(3) 昆虫	計245,810点 (内 6 年度 4,735点)
日本産昆虫類	201,639点 (内 6 年度 4,604点)
外国産昆虫類	44,171点 (内 6 年度 131点)
(4) 動物	計 47,802点 (内 6 年度 8,881点)
無脊椎動物	31,766点 (内 6 年度 8,808点)
哺乳類	196点 (内 6 年度 67点)
鳥類	223点 (内 6 年度 0点)
両生類・爬虫類	399点 (内 6 年度 1点)
魚類	15,143点 (内 6 年度 4点)
その他	75点 (内 6 年度 1点)
(5) 二次資料	
図書	14,745冊 (内 6 年度 362点)
逐次刊行物	48,599冊 (内 6 年度 1,370点)

9 標本・資料整理ボランティアの活動 (計延べ697人)

- (1) 植物分野 (敬称略)
秋山真緒、射場今日子、入江和喜、大江宏、蒲生直未、狩山俊悟、白石明日美、西本聖子、松田恵子、伏見滋子。延べ166人。
- (2) 昆虫分野 (敬称略)
岡野貴司、小野淳平、北村涼子、黒岩大地、斉藤翠子、斉藤陽一、宮原康則、山地治。延べ102人。
- (3) 動物分野 (敬称略)
岡田千誠、小橋理絵子、山崎法子、山野ひとみ。延べ119人。
- (4) 博物館友の会脊椎動物グループ
事業の概要：駆除個体の譲り受けと事故個体の拾得により、ボランティア主導で動物標本の作製と活用に取り組み、スキルアップを目指す。作製した標本は博物館資料として恒久的な管理のもとで展示、普及活動で活用し、博物館活動の輪を一般市民に広げる。延べ310人。

10 博物館のお宝探検

自由に立ち入ることができない標本収蔵庫を案内し、博物館資料の保管状況や貴重なお宝標本を見ていただいた（予約制＋イベント）。植物 1 回 8 人、昆虫 19 回 195 人。

11 館外者による収蔵資料の利用（ボランティア活動、お宝探検除く、来館＋貸出） 計 394 件

地学 2 件、植物 44 件、昆虫 299 件、動物 4 件、二次資料 45 件。

12 収蔵資料を活用した業績（使用後、当館へ寄贈されたものも含む） 計 33 件

(1) 植物分野 (11 件)

鐵慎太郎、地域博物館における収蔵庫と植生学のつながり。植生情報、(28):36-39. (4 月 10 日)

狩山俊悟・鐵慎太郎、六島（笠岡市六島）の植物。しぜんしくらしき、(127):12. (6 月 1 日)

熊本博物館、熊本博物館夏季特別展／KAB 熊本朝日放送開局 35 周年記念「旅するタネ」展示ガイドブック、旅するタネ実行委員会（熊本博物館／KAB 熊本朝日放送）。(7 月 13 日)

狩山俊悟、赤磐市のため池堤防に生えるツチグリ。しぜんしくらしき、(128):1. (10 月 1 日)

狩山俊悟・田淵正和、ツチグリ（バラ科）を赤磐市のため池堤防で確認。しぜんしくらしき、(128):2. (10 月 1 日)

岡本泰典・鐵慎太郎、岡山県新産の帰化植物ミツバオオハンゴンソウ *Rudbeckia triloba* L. しぜんしくらしき、(128):3. (10 月 1 日)

矢野興一・鐵 慎太郎・首藤光太郎、岡山県瀬戸内市前島で見出されたコゴメスゲ（カヤツリグサ科）および岡山県内での分布。莎草研究、(26):45-49. (12 月)

狩山俊悟・鐵慎太郎、『岡山県野生生物目録 2019』（岡山県編、2019）に未掲載の植物。しぜんしくらしき、(129):5-7. (2 月 1 日)

立松和晃・天本匡宥・鐵慎太郎・渡部教行、新たに確認された外来植物 ギンモウガシワ *Mallotus apelta* (Lour.) Müll. Arg. (Euphorbiaceae)。岐阜県植物研究会誌、39:41-46. (3 月)

鐵慎太郎、オオマルバノホロシ *Solanum megacarpum* Koidz. (ナス科) を岡山県から記録。倉敷市立自然史博物館研究報告、40:23-24. (3 月 25 日)

鐵慎太郎・片岡博行、帰化植物チョウセンキハギ *Lespedeza maximowiczii* C. K. Schneid. と ハナハギ *Campylotropis macrocarpa* (Bunge) Rehder (マメ科) を岡山県から記録。倉敷市立自然史博物館研究報告、40:25-28. (3 月 25 日)

(2) 昆虫分野 (20 件)

Senda, S., A description of *Philydrodes grandiculus* sp. nov. (Coleoptera, Staphylinidae,

Omaliinae) from Western Honshu, Japan. Elytra, New Series, 13 (2): 253-259. (2023 年 11 月 25 日)

三宅誠治、故吉田嘉男氏収集の日本産蝶類標本の目録と所見。倉敷市立自然史博物館研究報告、(39):1-24. (2024 年 3 月 25 日)

藤岡昌介・小林裕和、オオトラフハナムグリとその近縁 3 種の再検討。SAIKAKU TSÛSHIN、(48):1-18. (4 月)

Senda, Y., Revision of the fungivorous genus *Oxyporus* (s. str.) (Coleoptera: Staphylinidae: Oxyporinae) of Japan, with preliminary analysis of host relationships, species richness and zoogeography. Annales de la Société entomologique de France (N. S.), DOI: 10.1080/00379271.2024.2329589. pp.1-64. (5 月 10 日)

小橋理絵子、岡山県におけるヤシオオオサゾウムシ再発生の状況。しぜんしくらしき、(127):2-3. (6 月 1 日)

Wakejima, T., S. Nakasato & V. V. Lien, Description of a new species allied to *Acrocyrtidus fulvus* Gressitt et Rondon (Coleoptera, Cerambycidae) from central Vietnam. Elytra, New Series, 14:13-17. (5 月 25 日)

窪木幹夫、日本のヒメハナカミキリ。167 pp. むし社、東京。 (8 月 1 日)

Nakamura, R., Unexpected discovery of a new *Lycocerus* (Coleoptera, Cantharidae) from Okinawa Island, Ryukyu Islands, southwest Japan. Zootaxa, 5507(3):489-497. (9 月 13 日)

奥島雄一、#おうち観察会 5。しぜんしくらしき、(128):4-7. (10 月 1 日)

福谷愉海・西田有佑・笠井敦、アオドウガネ（甲虫目：コガネムシ科）の日本における分布域の拡大過程と潜在的な生息適地の推定。日本応用動物昆虫学会誌、68(4):97-113. (12 月 3 日以前)

中村涼・大生唯統・奥島雄一、オワリクビボソジョウカイの新分布記録。さやばねニューシリーズ、(56):25-26. (12 月 31 日)

山元修成、世界のチョウ類一竹中一夫コレクションーが開催中。ゆずりはクラブ、27(1):1, 9. (1 月 1 日)

奥島雄一・齋藤壮志、円通寺公園の昆虫。しぜんしくらしき、(129):8. (2 月 1 日)

秋山美文、道後山の甲虫相。比和科学博物館研究報告、(66):73-165. (2 月 10 日)

中村涼・林成多・奥島雄一、隠岐諸島のジョウカイボン科。ホシザキグリーン財団研究報告、(28):219-243. (3 月 20 日)

奥島雄一、倉敷市水島港で発見された 2 種の特定外来生物、アカカミアリとコカミアリ（ハチ目、アリ科）。倉敷市立自然史博物館研究報告、(40):35-36. (3 月 25 日)

高橋和弘、北海道を除く日本産 *Rhagonycha* 属の解説と新分布記録. さやばねニューシリーズ、(57): 43-46. (3月25日)

Hsiao, Y., H. Kojima, R. G. Oberprieler & H. T. Dao, *Endaeus inexpectatus* sp. nov. (Coleoptera: Curculionidae: Curculioninae): A new potential pest of *Annona squamosa* in Vietnam. Annales Zoologici (Warszawa), 75(1): 399-410. (3月30日)

小橋理絵子、岡山県におけるアカハネオンブバッタの分布拡大の状況. すずむし、倉敷、(160): 3-4. (3月31日)

岡野貴司、シンジュキノカワガの県南西部の記録. すずむし、倉敷、(160): 5-6. (3月31日)

(3) 動物分野 (2件)

奥島雄一・八木悠介・長谷川廉、倉敷市で発見されたアリゲーターガー. 倉敷市立自然史博物館研究報告、(40): 1-3. (3月25日)

八田奈穂・江田伸司・越山洋三、岡山県で拾得されたアズマモグラ *Mogera imaizumii* の記録. 倉敷市立自然史博物館研究報告、(40): 29-34. (3月25日)

13 収蔵設備 (備品等) の充実

購入・寄贈・自作なし.

14 収蔵庫の燻蒸

場所: 第1収蔵庫 (使用薬剤: エキヒューム s)

期間: 6月23日~6月25日

II 調査研究事業

1 機関研究

(1) 岡山県下の自然に関する総合調査研究 (調査日)

ア 地学分野: 武智泰史

4月27日、5月14日、25日、12月10日、15日.

イ 植物分野: 鐵慎太郎

5月12日、14日、25日、9月7日.

ウ 昆虫分野: 奥島雄一

4月27日、5月12日、14日、25日、6月9日、7月7日.

エ 動物分野: 江田伸司

4月27日、5月12日、14日、25日、7月13日、10月5日、19日.

(2) 倉敷市内の自然に関する総合調査研究 (調査日)

ア 植物分野: 鐵慎太郎

4月12日、19日、5月4日、17日、6月21日、22日、7月9日、15日、8月20日、22日、9月15日、22日、28日、10月26日、11月6日、12月10日、15日、20日、21日、3月23日、26日、27日.

イ 昆虫分野: 奥島雄一

6月7日、23日、7月23日、25日、27日、30日、8月2日、9日、10月4日、9日、10日、12月10日、15日.

ウ 動物分野: 江田伸司

6月25日、7月6日、12月10日、15日.

2 分野別研究テーマ

(1) 地学: 武智泰史

地質鉱物の研究.

(2) 植物: 鐵慎太郎

ア 岡山県のフロラ (植物相) の把握.

イ 倉敷市内及び高梁川流域の植生を対象とする調査研究.

ウ 収蔵標本を活用した植物学的研究.

エ 「岡山県植物誌研究会」に対する研究支援.

(3) 昆虫: 奥島雄一

ア 岡山県の昆虫調査.

イ ジョウカイボン科 (コウチュウ目) の分類学的研究.

ウ 自然史資料の収集と活用について.

(4) 動物: 江田伸司

岡山県の動物調査.

3 研究業績などの公表

(1) 8月18日 「学芸員研究紹介-植物-: 倉敷の植生~1年調べて分かったこと~」、17(2)人.

3月8日、「ブッポウソウのお話」演者: 江田伸司・黒田聖子、12(2)人.

(2) 博物館講座「むしむし探検隊公開研究発表会」(教育普及事業に再掲)

3月20日、「タカサゴキラマダニに刺症例」「博物館における野生動物標本取得にかかる法的手続き」演者: 奥島雄一、81(19)人.

(3) 当館より発行された刊行物

倉敷市立自然史博物館研究報告第40号、3月25日、300部発行、A4判、36ページ、カラー、寄贈交換先へ配布

するほか、1 部2,180円(税込)で有料頒布。

収録報文(※は館外研究者)

[論文]

奥島雄一・八木悠介*・長谷川 廉*: 倉敷市で発見されたアリゲーターガー。

三宅誠治*: 岡山県に於けるハヤシミドリシジミの生息状況。

鐵 慎太郎: オオマルバノホロシ *Solanum megacarpum* Koidz. (ナス科) を岡山県から記録。

鐵 慎太郎・片岡博行*: 帰化植物チョウセンキハギ *Lespedeza maximowiczii* C. K. Schneid. とハナハギ *Campylotropis macrocarpa* (Bunge) Rehder (マメ科) を岡山県から記録。

八田奈穂*・江田伸司・越山洋三*: 岡山県で拾得されたアズマモグラ *Mogera imaizumii* の記録。

[短報]

奥島雄一: 倉敷市水島港で発見された2種の特定外来生物、アカカミアリとコカミアリ(ハチ目、アリ科)。

(4) 当館以外の刊行物への寄稿(79件)

ア 武智泰史: 地学担当(3件)

水晶、自然のおはなし、山陽新聞。(8月7日)

佐渡の相川金銀山、自然のおはなし、山陽新聞。(12月4日)

共著: 武智泰史、中村大輔、鈴木茂之、ライアン・ジョセフ、上柊武、長原正人、吉江雄太、池端慶、木村理、服部 亮一(2025)「吉備製鉄遺跡周辺地域の磁鉄鉱ざくろ石スカルンの鉱床学的・地球化学的特徴」、文明動態学(岡山大学文明動態学研究所)、4:19-52。(3月25日)

イ 鐵慎太郎: 植物担当(16件)

特集「植生学と博物館② 一標本と植生」について、植生情報、(28):2。(4月10日)

地域博物館における収蔵庫と植生学のつながり、植生情報、(28):36-39。(4月10日)

すき間に息づく植物たち 街なかで発見あるかも、自然のおはなし、特別編、山陽新聞(さん太タイムズ)、(50599):13。(5月1日)

ドイツ自然観察記6 ー内陸の塩性湿地と石灰岩地のブナ林ー、しぜんしくらしき、(127):6-7。(6月1日)

秋の鶴形山で植物観察、しぜんしくらしき、(127):9。(6月1日)

共著: 狩山俊悟・鐵慎太郎、六島(笠岡市六島)の植物、しぜんしくらしき、(127):12。(6月1日)

まちなかの水草 身近で貴重な存在、自然のおはなし、山陽新聞(さん太タイムズ)、(50721):15。(9月4日)

共著: 岡本泰典・鐵慎太郎、岡山県新産の帰化植物ミツバオオハンゴンソウ *Rudbeckia triloba* L. しぜんしくらしき、(128):3。(10月1日)

んしくらしき、(128):3。(10月1日)

ドイツ自然観察記7 ーブレーメンの街なかの植物ー、しぜんしくらしき、(128):8-9。(10月1日)

近くて遠い鶴形山、しぜんしくらしき、(128):12。(10月1日)

両山寺、二上山の自然、しぜんしくらしき、(128):13。(10月1日)

共著: 矢野興一・鐵 慎太郎・首藤光太郎、岡山県瀬戸内市前島で見出されたコゴメスゲ(カヤツリグサ科)および岡山県内での分布、莎草研究、(26):45-49。(12月)

コシダ 南国中心に分布、岡山にも、自然のおはなし、山陽新聞(さん太タイムズ)、(50842):15。(1月8日)

共著: 狩山俊悟・鐵慎太郎、『岡山県野生生物目録2019』(岡山県編、2019)に未掲載の植物、しぜんしくらしき、(129):5-7。(2月1日)

共著: 鐵慎太郎・狩山俊悟、初秋の湿原の植物、しぜんしくらしき、(129):10。(2月1日)

共著: 立松和晃・天本匡宥・鐵慎太郎・渡部教行、新たに確認された外来植物 ギンモウガシワ *Mallotus apelta* (Lour.) Müll. Arg. (Euphorbiaceae)、岐阜県植物研究会誌、39:41-46。(3月)

ウ 奥島雄一: 昆虫担当(54件)

ナナホシテントウ、自然のおはなし、191、山陽新聞(さん太タイムズ)、(50572):15。(4月4日)

倉敷市立自然史博物館の催しもの案内、KURAKON、倉敷、(103):588。(4月4日)

友の会ニュース編集スタッフ(ボランティア)募集、倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(388):2。(4月13日)

昆虫グループ活動報告、倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(388):7。(4月13日)

会員のためのプレミアムツアー「ナナフシモドキの赤ちゃんをさがせ!」、倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(388):10。(4月13日)

ミニ水族館の新顔募集、倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(388):10。(4月13日)

昆虫グループ活動報告、倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(389):11。(5月11日)

会員のためのプレミアムツアー「倉敷昆虫館を探検する」、倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(389):11。(5月11日)

ニシキキンカメムシ、自然のおはなし、192、山陽新聞(さん太タイムズ)、(50633):15。(6月5日)

昆虫グループ活動報告、倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(390):6。(6月8日)

会員のためのプレミアムツアー「アベマキの樹液を体感!」、倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(390):9。(6月8日)

ミニ水族館の新顔募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(390): 9. (6 月 8 日)

倉敷市立自然史博物館の催しもの案内. KURAKON、(104): 593. (7 月 1 日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(391): 6. (7 月 13 日)

ミニ水族館の新顔募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(391): 9. (7 月 13 日)

「しぜんしくらしき賞」作品募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(391): 9. (7 月 13 日)

共著: 奥島雄一・鐵慎太郎、「みんなのむしとみどりのサロン」出品者募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(391): 9. (7 月 13 日)

会員のためのプレミアムツアー「極上の標本作りークワガタ編」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(391): 12. (7 月 13 日)

会員のためのプレミアムツアー「『みんなのむしとみどりのサロン』フィナーレ」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(392): 3. (8 月 10 日)

ミニ水族館の新顔募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(392): 6. (8 月 10 日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(392): (8 月 10 日)

共著: 奥島雄一・鐵慎太郎、まだ間に合う「みんなのむしとみどりのサロン」出品者募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(392): 9. (8 月 10 日)

会員のためのプレミアム講座「『しぜんしくらしき』にデビューしよう」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(393): 2. (9 月 14 日)

まだ間に合う「しぜんしくらしき賞」作品募集中. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(393): 3. (9 月 14 日)

ミニ水族館の新顔募集. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(393): 5-6. (9 月 14 日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(393): 6. (9 月 14 日)

#おうち観察会 5. しぜんしくらしき、(128): 4-7. (10 月 1 日)

カネタタキ. 自然のおはなし、196、山陽新聞 (さん太タイムズ)、(50748): 17. (10 月 2 日)

会員のためのプレミアムツアー「新種昆虫の基準標本」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(394): 2. (10 月 12 日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(394): 3. (10 月 12 日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(394): 6. (10 月 12 日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(394): 7. (10 月 12 日)

共著: 原田愛・奥島雄一、脊椎動物グループの活動.

倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(395): 6. (11 月 9 日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(395): 7. (11 月 9 日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(395): 10. (11 月 9 日)

会員のためのプレミアム座談会「新種はどうやって決められるのかな」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(396): 4. (12 月 14 日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(396): 6. (12 月 14 日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(396): 6. (12 月 14 日)

共著: 中村涼・大生唯統・奥島雄一、オワリクビボソジョウカイの新分布記録. さやばねニューシリーズ、(56): 25-26. (12 月 31 日)

2025 年度大会のお知らせ【予告】. さやばねニューシリーズ、(56): 65. (12 月 31 日)

会員のためのプレミアムツアー「朽ち木くずし放題」. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(397): 1. (1 月 11 日)

共著: 奥島雄一・原田愛、脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(397): 2. (1 月 11 日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(397): 4. (1 月 11 日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(397): 9. (1 月 11 日)

共著: 奥島雄一・齋藤壮志、円通寺公園の昆虫. しぜんしくらしき、(129): 8. (2 月 1 日)

美しいガ. 自然のおはなし、200、山陽新聞 (さん太タイムズ)、(50870): 15. (2 月 5 日)

共著: 奥島雄一・原田愛、脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(398): 3. (2 月 8 日)

昆虫グループ活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(398): 5. (2 月 8 日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(398): 8. (2 月 8 日)

共著: 奥島雄一・原田愛、脊椎動物グループの活動. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(399): 5. (3 月 8 日)

ミニ水族館の新顔. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(399): 7. (3 月 8 日)

昆虫ボランティア活動報告. 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース、(399): 7. (3 月 8 日)

共著: 中村涼・林成多・奥島雄一、隠岐諸島のジョウカイボン科. ホシザキグリーン財団研究報告、(28): 219-243. (3 月 20 日)

青野孝昭先生との出会い. すずむし、倉敷、(160): 61. (3 月 31 日)

エ 江田伸司：動物担当（6 件）

ヤマガラ 2 頭の不思議な行動を観察。しぜんしくらしき、(127)：14.（6 月 1 日）

倉敷市南町でチョウゲンボウを観察。しぜんしくらしき、(127)：16.（6 月 1 日）

よく通るオスのさえずり オオルリ。自然のおはなし、193、山陽新聞（さん太タイムズ）、(50660)：15.（7 月 3 日）

高梁自然公園で観察した動物。しぜんしくらしき、(128)：12.（10 月 1 日）

共著：三上美姫・江田伸司、しぜんしくらしき、(129)：15.（2 月 1 日）

魔物のような鳴き声 トラツグミ。自然のおはなし、197、山陽新聞（さん太タイムズ）、(50782)：15.（11 月 6 日）

(5) 発表・講演（館外のみ）

ア 鐵慎太郎：植物担当（1 件）

岡山県の植生と倉敷市立自然史博物館の標本庫について、2024 年度（第 56 回）種生物学シンポジウム、サントピア岡山総社。（12 月 6 日）

イ 奥島雄一：昆虫担当（1 件）

新自然史博物館整備基本計画概要について、倉敷昆虫同好会例会、倉敷市立自然史博物館。（12 月 21 日）

4 査読

(1) 鐵慎太郎：植物担当（1 件）

2 月 16 日 生態環境研究

(2) 奥島雄一：昆虫担当（2 件）

4 月 2 日 Zootaxa、New Zealand.

5 月 20 日 Zootaxa、New Zealand.

Ⅲ 展示事業

1 常設展

〔エントランスホール〕

動くナウマンゾウの母子、倉敷の化石動物。

〔第 1 展示室：岡山県のなりたち〕展示数約 270 点

地球と生物の歴史、岡山県の地史、岡山県の地形、ナウマンゾウ骨格模型、倉敷市の地質と岩石、岡山県のスカルン、岡山県の岩石と鉱物、倉敷周辺の平野のなりたち。

〔第 2 展示室：岡山県のいきもの〕展示数約 1,000 点

岡山県の地形・地質と気候、岡山県の自然といきもの、阿哲の石灰岩台地、自然は変わる、ビデオコーナー。

〔第 3 展示室：昆虫の世界〕展示数約 9,200 点

体のしくみ、昆虫の歴史と分類、色と形のふしぎ、世界の昆虫、昆虫の生活、当館の昆虫コレクション、話題の虫。

〔第 4 展示室：植物の世界〕展示数約 1,000 点

生物の五界説、植物のかたち、植物のなかま、植物の分布、岡山県の植物、倉敷市の植物、くらしの中の植物、自由展示。

会場：特別展示室

主催：倉敷市立自然史博物館

協力：倉敷市立自然史博物館友の会、新見市教育委員会、重井薬用植物園

観覧料：通常観覧料

チラシ：32,000 枚 高梁川流域の児童・幼児に配布

図録「ぼくらのまちの 7 つのみどり」：800 部 当館関連機関及び高梁川流域の中学校、高等学校、支援学校、図書館に送付

備考：高梁川流域連携中枢都市圏事業

(2) 展示内容

倉敷市内及び高梁川流域のみどり（植生）について、当館の調査研究事業の成果をもとに 7 タイプのみどり（常緑広葉樹林、落葉広葉樹林、常緑針葉樹林、草原、河原の草地、海岸の草地、湿地や水中の植生）に分けて紹介した。133 点の植物標本及びカラー写真を用いたポスターを展示したほか、乾燥葉の匂いで 7 タイプのみどりの違いを体感できる体験型コーナー「みどりの香りソムリエ」、表層土から芽生える植物を経過観察する実験型展示「草生やすプロジェクト」を実施した。

2 特別展

(1) 実施概要

標題：第 33 回特別展「ぼくらのまちの 7 つのみどり」

会期：令和 6 年 7 月 20 日（土）～10 月 14 日（月・祝）



(3) 関連イベント

「みんなのむしとみどりのサロン」7月21日（日）～8月25日（日）。ただし、開館日のうち8月10日（土）、11日（日）、18日（日）は除く、出品者19人、計99件



(4) 実績

会期中の観覧者数 9,580人

3 特別企画展

- (1) 「倉敷市立自然史博物館秘蔵お宝展 第2弾」4月20日～6月30日、特別展示室。

当館初入手のヒグマをはじめとした鳥獣剥製や昆虫標本などの新着資料のほか、これまで展示紹介できていなかった植物化石などの収蔵品を紹介・展示した。



4 特別陳列

- (1) 「畠田和一貝類コレクション展10 畠田和一が採集していた岡山県の絶滅危惧種6」4月13日～9月23日、2階事務室前。
- (2) 「畠田和一貝類コレクション展11 畠田和一が採集していた岡山県の絶滅危惧種7」10月12日～3月23日、2階事務室前。
- (3) 「第32回しぜんしくらしき賞作品展」10月25日～12月4日、特別展示室、共催：倉敷市立自然史博物館友の会、出品点数26点。



- (4) 「新着資料展「世界のチョウ類－竹中一夫コレクション①」」12月14日～1月26日、特別展示室。
- (5) 「シカだらけ－博物館にシカの標本が集まるまで－（みんなの動物ラボ）2月4日～3月22日、特別展示室、共催：倉敷市立自然史博物館友の会。



- (6) 「新着資料展「世界のチョウ・ガ類－竹中一夫コレクション②」」3月29日～6月15日、特別展示室。



5 ミニ水族館の展示（敬称略）

- (1) 国指定天然記念物アユモドキほか淡水魚の飼育展示
管理委託：倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科山野研究室
協力：岡山市教育委員会

- (2) 動植物の提供など

〔植物水槽〕

7月19日 イヌタヌキモ、イバラモ、オオカナダモ、クロモ、ササバモ、セキショウモ、センニンモ、ホザキノフサモ、マツモ 狩山俊悟・小橋理恵子

〔昆虫水槽〕

4月27日 クロゲンゴロウ、オオコオイムシ、ミズカマキリ、アメンボ、オニヤンマ幼虫、ヤンマ科幼虫、エビ類、小魚 館員
8月9日 ハイイログゲンゴロウ、コマツモムシ、アメンボ、トンボ科幼虫 館員ほか
8月25日 ハイイログゲンゴロウ、マツモムシ、アメンボ、トンボ科幼虫 館員
8月25日 ガムシ 磯野裕昭
9月3日 ハイイログゲンゴロウ、マツモムシ、コマツモムシ、アメンボ、トンボ科幼虫 館員
3月30日 ドジョウ 河手優磨

6 常設展示の更新

- (1) 第2展示室

9月4日～ 「二ホンザリガニ・ウチダザリガニ・アメリカザリガニ」

- (2) 第3展示室

「当館の昆虫コレクション」随時更新.

「話題の虫」：オオセンチコガネ、ナナホシテントウ、ニシキキンカメムシ、カネタタキ、美しいガ、リュウキユウムラサキ、モンゴルの昆虫標本、セミの抜け殻標本、ヒメシカシラミバエ.

- (3) 第4展示室「植物の自由展示」

3月6日～11月1日 「どんぐり・ごろん・ごろん」.

11月3日～1月26日 「ショクダイオオコンニャク」.
1月29日～ 「干支（へび）にちなんだ植物」.

7 生きた動植物の展示

4月25日～5月5日 「コンニャクの花」 裾分由美子
1月15日～1月19日 「ラケナリア・ビリディフロラ」
館員

8 恐竜のぬり絵

ティラノサウルス、トリケラトプス、プテラノドン.

9 まちかど博物館（高梁川流域連携中枢都市圏事業）

当館が所蔵する岩石、鉱物、化石、植物、昆虫、動物などの本物の標本を、移動可能な展示セット計60台に仕立てて、公共性の高い施設、または市民や観光客らが集う施設を対象として貸し出ししている。

令和6年度新規貸出実績：延べ34施設、68台（継続含まず、更新含む）。設置先（複数回は単一化）：倉敷市立玉島図書館、倉敷市立児島図書館、倉敷市立中央図書館、ライフパーク倉敷図書室、倉敷市立船穂図書館、倉敷市立水島図書館、倉敷市立倉敷西小学校、倉敷児童館、真備児童館、くらしき作陽大学附属認定こども園、中洲保育園、玉島保育園、第一福田保育園、まきびの里認定こども園、倉敷昆虫館、倉敷観光コンベンションビューロー.

10 他館展示協力

4月1日～3月31日 倉敷埋蔵文化財センター、常設展（哺乳類化石を貸出）.

4月1日～3月31日 岡山県自然保護センター、常設展（哺乳類化石を貸出）.

4月1日～1月7日 岡山県立博物館、常設展（哺乳類化石を貸出）.

7月1日～9月23日 南方熊楠記念館、特別展「南方熊楠と粘菌・アート作品展」（南方熊楠採集の粘菌標本を貸出）.

3月1日～2日 人と科学の未来館サイピア、「どうかしている岡山の生きもの屋集めてみた」（「むしむし探検隊」出展）.

11 展示用模型の製作

- (1) 植物レプリカ（産業廃棄物処理税使途事業）

委託製作費 994,180円

製作種名 セツブンソウ（写真）、ハマビシ



IV 教育普及事業

※行事総参加者数 2,348 (1,016) 人 (カッコ内は中学生以下の参加人数＝倉敷市第七次総合計画指標「自然にふれたり、学んだりする活動に参加している子どもの数」) (ただし、こどもの日スペシャル、自然史博物館まつり、レファレンス、博物館実習生等は含めない)

1 自然観察会 (計22回 参加者合計853(283)人)

5月4日 第406回自然観察会「春の身近な植物観察」倉敷美観地区・鶴形山など、35(12)人。

5月12日 第407回自然観察会「高梁川流域自然たんけん(高梁市)」高梁市落合町原田、54(16)人。(高梁川流域連携中枢都市圏事業)

5月18日 第408回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし2024年5月」倉敷市寿町、51(18)人。

5月25日 第409回自然観察会「おかやま自然探訪(旧中央町)」久米郡美咲町両山寺、43(12)人。

6月22日 第410回自然観察会「ブッポウソウを観察しよう(鳥取)」鳥取県南部町、21(7)人。

6月23日 第411回自然観察会「夏だ！昆虫採集」倉敷市玉島柏島、126(59)人。

7月6日 第412回自然観察会「ダルマガエル観察会リターンズ」倉敷市真備町辻田、31(13)人。

7月13日 第413回自然観察会「ブッポウソウを観察しよう(岡山)」吉備中央町、17(0)人。

7月27日 第414回自然観察会「セミの抜けがら調べ」倉敷市酒津、32(14)人。

8月24日 第415回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし2024年8月」倉敷市寿町、60(29)人。

9月7日 第416回自然観察会「高梁川流域花めぐり～西の尾瀬 鯉が窪湿原～」新見市哲西町矢田、32(0)人。

9月15日 特別展解説&「まちなかで水草観察」自然史博物館・鶴形山、24(3)人。

9月28日 特別展解説&「まちなかでツヤツヤの森観察」

自然史博物館・鶴形山、14(4)人。

9月22日 第417回自然観察会「ミズアオイ観察とネイチャーゲーム」倉敷市加須山、43(14)人。

10月19日 第418回自然観察会「楽しい魚採り」倉敷市酒津、37(13)人。

10月26日 第419回自然観察会「秋の身近な植物観察」倉敷市向山など、15(1)人。

11月16日 第420回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし2024年11月」倉敷市寿町、49(21)人。

12月15日 第421回自然観察会「鶴形山の生きもの観察(高梁川流域自然たんけん(倉敷市))」倉敷市鶴形山、45(14)人。(高梁川流域連携中枢都市圏事業)

12月22日 第422回自然観察会「龍王山の地学ハイキング」倉敷市龍王山、25(1)人。

3月8日 第423回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし2025年3月」倉敷市寿町、44(19)人。

3月9日 第424回自然観察会「倉敷の鳥カワセミをさがそう！」倉敷市真備町岡田、25(7)人。

3月23日 第425回自然観察会「ミズアオイの種まきとネイチャーゲーム」倉敷市加須山、30(6)人。



5月12日「高梁川流域自然たんけん(高梁市)」

2 博物館講座 (計 7 回 参加者合計148(59)人)

- 6 月 22 日 「植物標本の作り方①採集編」、7(3)人。
 7 月 6 日 「昆虫標本の作り方」、73(37)人。
 7 月 7 日 「植物標本の作り方②標本づくり編」、27(14)人。
 8 月 18 日 「学芸員研究紹介ー植物ー：倉敷の植生～1 年調べて分かったこと～」、17(2)人。
 1 月 19 日 「世界遺産 佐渡島の金山の相川金銀山の鉱床・鉱石について」、12(1)人。
 3 月 8 日 「ブッポウソウのお話」、12(2)人。
 3 月 20 日 「むしむし探検隊公開発表会」、後記「むしむし探検隊」に記載。



7 月 6 日「昆虫標本の作り方」

3 特別展・特別企画展・特別陳列関連イベント

みんなのむしとみどりのサロン (期間：7 月 21 日 (日) ～ 8 月 25 日 (日))。ただし、開館日のうち 8 月 10 日 (土)、11 日 (日)、18 日 (日) は除く (特別展観覧者に含む)

4 自然の標本なんでも相談会

8 月 11 日 123(58)人。

5 地学教室

1 月 26 日 「ドイツ ザクセンのガーネットの研磨」、19(10)人。

6 むしむし探検隊 参加者延べ231(91)人。

隊長：奥島雄一 (館員)、サポートスタッフ：岡野貴司、秦英夫、藤本徹哉、中野一成、磯野裕昭、加藤学、斉藤翠子、北村涼子、小野淳平、末長晴輝、斉藤陽一、武田寛生、武田雅生、安達由莉、國本尚憲、平田匠、隊員 (小 5 ～ 高 2) 15 人。
 4 月 14 日 入隊説明会&オリエンテーション 35(16)人。
 5 月 5 日 こどもの日スペシャル 17(10)人。
 6 月 9 日 探検研修 笠岡市北木島 21(10)人。
 7 月 7 日 探検研修 新見市石蟹～哲多町花木、17(7)人。
 7 月 21 日～8 月 25 日 「みんなのむしとみどりのサロ

ン」出品・会場係 9(4)人。

11 月 3 ～ 4 日 自然史博物館まつり 30(14)人。

3 月 1 日～2 日 「どうかしている岡山の生きもの屋集めてみた」 (人と科学の未来館サイビア) 21(11)人。

3 月 20 日 公開研究発表会 81(19)人。

7 自然素材を使った手作り教室 (計 8 回、延べ209(118)人)

4 月 14 日、5 月 12 日、7 月 14 日、8 月 18 日、10 月 13 日、11 月 10 日、12 月 8 日、2 月 9 日 (原則毎月第 2 日曜日開催)。

8 こどもの日スペシャル (中学生以下の人数含めない)

(1) 開催日：5 月 5 日 (日・祝)

(2) 開催イベント

昆虫にさわってみよう！、オリジナル缶バッジを作ろう、チョウの鱗粉転写でしおりを作ろう、ミュージアムショップ&バザー、自然史博物館ウルトラクイズ、風船で作品を作ろう！、学芸員とお話しよう (地学、動物、昆虫、植物)、どんぐりごまづくり、「秘蔵お宝展 第 2 弾」展示解説

(3) 来場者数：494人

9 第24回 自然史博物館まつり (中学生以下の人数含めない)

(1) 開催日：11 月 3 日 (日・祝)、4 日 (月・休)

(2) 開催イベント

ア 11 月 3 日

開会式、くらしき作陽大学サックスカルテット、キャラクターショー、「しぜんしくらしき賞」表彰式&作品解説、くらしきの魚たち

イ 11 月 4 日

忍者ショー&忍者教室

ウ 11 月 3 日～4 日

カブト&クワガタふれあいドーム、ミュージアムショップ、見て！さわって！世界遺産の佐渡の金銀鉱山、毛皮とホネにさわってみよう！、身近な昆虫をむしむし探検隊と語ろう！、世界最大の花ショクダイオオコンニャクの標本がやってきた！、葉っぱで秋をとじ込めたしおりを作ろう！、オリジナル缶バッジを作ろう！、モンゴル恐竜化石発掘報告、木の葉であそぼう！葉脈標本とタラヨウの葉書、倉敷昆虫館ビオトープの住人たち

(3) 来場者数：3,141人



忍者ショー&忍者教室

10 出版物

[パオちゃん's EYE]

- No. 85「モンゴルの昆虫標本」奥島雄一（4月1日）
- No. 86「柵原鉱山の硫化鉄鉱」武智泰史（5月1日）
- No. 87「ハマミズナ科の植物」鐵慎太郎（6月1日）
- No. 88「この鳥って何ですか？」江田伸司（7月1日）
- No. 89「セミの抜け殻標本」奥島雄一（8月1日）
- No. 90「ヤマツツジの高さは？」鐵慎太郎（9月1日）
- No. 91「河原の岩石の調べ方」武智泰史（10月1日）
- No. 92「カワセミと新幹線」江田伸司（11月1日）
- No. 93「ヒメシカシラミバエ」奥島雄一（12月1日）
- No. 94「トゲだらけの木「クスドイゲ」」鐵慎太郎（1月1日）
- No. 95「町中で石材として使われている花こう岩」武智泰史（2月1日）
- No. 96「近頃のセキレイ」江田伸司（3月1日）

11 レファレンス

質問、同定依頼、研究協力、原稿校閲、マスコミ取材等への対応。

地学140件、植物186件、昆虫300件、動物193件、その他31件（計850件）。

12 博物館実習生等の受け入れ（人数含めない）

- (1) 博物館実習 2人
8月6日～11日 坂本龍希（岡山大学）、友清花架（岡山大学）
- (2) 博物館見学実習（当館職員が対応したもの）
5月12日 岡山理科大学 33人
10月26日 岡山大学文学部 25人
12月7日 福山大学 12人
- (3) インターンシップ 6人
7月23日～27日 岡田千誠・瀧谷咲月（岡山理科大学）
8月14日～18日 諸遊萌花（作陽短期大学）、北本実

来（くらしき作陽大学）。

9月3日～10日 栗阪沙輝子・國友芽生（くらしき作陽大学）。

(4) 小中高校生の実習 計13人

（職場体験）

- 5月15日～5月17日 倉敷市立真備東中学校 1人。
- 5月21日～5月23日 倉敷市立多津美中学校 1人。
- 7月9日～7月11日 倉敷市立水島中学校 2人。
- 9月10日～9月12日 倉敷市立新田中学校 2人。
- 9月18日～9月20日 倉敷市立東中学校 1人。
- 10月30日～11月1日 倉敷市立船穂中学校 2人。
- 11月6日～11月8日 倉敷天城中学校 2人。
- 11月12日～11月14日 倉敷市立西中学校 1人。
- 11月19日～11月21日 倉敷市立倉敷第一中学校 1人。

13 講師派遣（「出前講座」含む） 計19回、参加者合計 645(392)人

(1) 武智泰史：地学担当（3回、92(63)人）

- 7月25日「岩石や鉱物と化石」、帯江児童クラブ、50(50)人。
- 7月30日「岩石や鉱物と化石」、真備児童館、13(13)人。
- 8月24日「岩石や鉱物と化石」、倉敷昆虫同好会、29(0)人。

(2) 鐵慎太郎：植物担当（4回、122(44)人）

- 8月22日 「身近な野生植物の観察やお話」、水島仲よしクラブ、11(9)人。
- 11月13日 「身近な野生植物の観察やお話」、上成小学校区 放課後子ども教室、37(35)人。
- 12月21日 「身近な野生植物の観察やお話」、自然史博物館について、倉敷市立短期大学、63(0)人。
- 3月28日 「身近な野生植物の観察やお話」、ツツジ山再生プロジェクト、11(0)人。

(3) 奥島雄一：昆虫担当（11回、414(271)人）

- 5月12日 「博物館学実習」 岡山理科大学生物地球学部 33(0)人。
- 7月18日 「倉敷市自然保護監視員研修会」 環境政策課 18(0)人。
- 7月23日 「どこでも昆虫採集」 日中一時支援JOYすてっぷ 28(24)人。
- 7月25日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市新田公民館 21(9)人。
- 7月30日 「どこでも昆虫採集」 せいほっ子児童クラブ 34(30)人。
- 8月2日 「どこでも昆虫採集」 上成キラキラ児童クラブ 111(90)人。
- 10月4日 「どこでも昆虫採集」 くらしき作陽大学 附属認定こども園（4歳児） 42(38)人。

- 10月9日 「どこでも昆虫採集」 倉敷市立上成小学校区放課後子ども教室 46(40)人。
 10月10日 「どこでも昆虫採集」 くらしき作陽大学附属認定こども園（5歳児） 44(40)人。
 10月26日 「学芸員資格取得のための博物館及び美術館における実習」 岡山大学文学部 25(0)人。
 12月7日 「博物館施設見学実習」 福山大学生命工学部海洋生物科学科 12(0)人。

(4) 江田伸司：動物担当（1回、17(14)人）

- 7月4日 「出前講座：動物の観察と採集」、第二敬愛幼稚園 17(14)人。

14 マスコミ報道（館名、氏名公表分のみ）（55件）

(1) 倉敷市立自然史博物館（26件）

- 4月12日発行 山陽新聞（作州）、「尻尾が二股のカナヘビいたよ／江戸小3年川崎君」。
 5月10日発行 山陽新聞（備前）、「びっくり日本最大級テントウムシ／国府幼で次々発見」。
 5月28日発行 山陽新聞（都市圏）、「希少な剥製、化石見て／市立自然史博物館で特別展／市民ら寄贈の7600点」。
 6月1日発行 山陽新聞（一面）、「ワクチン冷凍庫新たな役目／美術品や書籍修復／剥製用に動物保存／岡山県内」。
 6月5日公開 RSK山陽放送（ネットニュース）、「「ゴミと思ったら虫！？」黒い落花生の皮のような虫の名は「マダラマルハヒロゾコガ」アリのおこぼれを狙って生きている」、<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/rsk/1202783?display=1>。
 6月19日発行 山陽新聞（備中）、「矢掛／90年前採集の植物標本／きょうから郷土美術館／38種43点「里帰り」展」。
 7月27日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「種類を見分けられるようになろう／倉敷・酒津公園／セミの抜け殻調査」。
 8月11日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「夏休みの自然標本相談／専門家が疑問を解決」。
 8月23日放映 山陽放送テレビ、「RSKニュース」、「【子どもたちの夏風景】夏休みはあとわずか 子どもたちは宿題のラストスパートへ」。
 8月30日発行 山陽新聞（都市圏）、「希少な「迷蝶」捕獲一南中1年・竹吉さん／自然史博物館に標本贈る」。
 9月21日発行 山陽新聞（都市圏）、「まち変貌／市立自然史博物館ライフパークに移転／総合的に科学学ぶ拠点に／整備基本計画案29年度利用開始目指す」。
 9月25日発行 教育時報、「県内の登録博物館を訪れてみませんか／～実物の自然を間近で観察したい～／倉敷市立自然史博物館」。
 9月28日発行 山陽新聞（都市圏）、「ミズアオイかれん／県内唯一の自生地・倉敷川河川敷／芸科大の栽培

池でも」。

- 10月2日発行 山陽新聞（都市圏）、「いきいきパスポート／利用期間通年に拡大／市教委大原美術館など無料」。
 10月17日発行 山陽新聞（備中）、「鬼城山山頂付近外来植物一掃を／19日・総社、参加者募る」。
 10月25日放映 たまテレ、「しぜんしくらしき賞作品展」。
 11月1日発行 山陽新聞（備中）、「自然史博物館まつり」。
 11月2日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「中国地方初・世界最大級の花 ショクダイオオコンニャクの標本展示」。
 11月3日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「生き物と触れ合うイベント 倉敷で自然史博物館まつり」。
 11月7日発行 朝日新聞（岡山）、「乾燥に70日 巨大花の標本 倉敷・自然史博物館で公開」。
 11月25日放映 たまテレ、「ショクダイオオコンニャク展示」。
 12月18日放映 たまテレ、「世界のチョウ展示」。
 2月24日以降放映 たまテレ、「特別陳列 シカだらけ」。
 3月8日発行 山陽新聞（くらし）、「育む・学ぶ／Hugだより／わくわく昆虫教室／くらしき作陽大附属認定こども園」。
 3月27日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「活動・研究の成果を発表 むしむし探検隊 最終発表会」。
 3月29日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「「中庄ツツジ祭り」開催前にプレイイベント」。

(2) 武智泰史：地学担当（3件）

- 4月19日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ（ナウマンの小部屋）「4～5月の催し物」
 7月19日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ（ナウマンの小部屋）「7～8月の催し物」
 11月15日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ（ナウマンの小部屋）「11～12月の催し物」

(3) 鐵慎太郎：植物担当（5件）

- 6月19日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「連島町の家庭菜園 ジャガイモの株に実を発見」。
 8月16日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ（ナウマンの小部屋）「倉敷のみどり（植生）について」。
 9月15日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「身近な水草観察会 倉敷・自然史博物館の特別展に合わせ」。
 10月19日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ（ナウマンの小部屋）「世界最大の花と「自

然史博物館まつり」について」.

11月20日発行 山陽新聞(さん太タイムズ)、「恐竜調査隊が行く／サクサウル／環境変化を生き抜いた木」.

(4) 奥島雄一：昆虫担当(16件)

5月16日以降放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「クビキリギス」.

5月17日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「職場体験／秘蔵お宝展」.

6月23日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「雨でも見つかるかな? 昆虫採集の楽しさを実感」.

7月20日発行 山陽新聞(くらし)、「科学を実体験しよう／岡山県内／夏休み自由研究催し次々」

8月22日放映 RSK山陽放送テレビ、イブニングニュース、「中学生が珍しい蝶を発見! 「リュウキュウムラサキ」主に東南アジアに生息 迷った?」.

8月22日放映 RNC西日本放送、RNCニュース、「『迷蝶』リュウキュウムラサキ 倉敷市の中学生が発見」

8月22日放映 OHK岡山放送、OHKニュース、「倉敷市内の緑地に「迷蝶」飛ぶ 地元の中学1年生が本土では珍しいリュウキュウムラサキを捕獲」.

8月22日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「お手柄!! 中学生が“迷蝶”を採集」.

8月28日放送 エフエムくらしき、「ぼっけーくらしき! ラジオまるかじり／ハッピーレポート」、「迷蝶リュウキュウムラサキを倉敷市中心部で中学生が発見」.

9月20日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「迷蝶リュウキュウムラサキ発見／しぜんしくらしき賞作品募集」.

10月2日発行 山陽新聞(さん太タイムズ)、「昆虫標本取材しよう／26日、倉敷市立自然史博物館／山陽子ども記者ネット／小中学生会員の参加募る」.

10月25日放映 倉敷ケーブルテレビ、「KCTニュース」、「昆虫などの標本を展示／しぜんしくらしき賞」.

11月26日発行 山陽新聞(さん太タイムズ)、「山陽子ども記者ネットワーク取材ツアー 倉敷市立自然史博物館／「昆虫の世界」にドキドキ」.

12月20日以降放映 RSK山陽放送テレビ、イブニングニュース、「世界のチョウ展示」.

1月24日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「世界のチョウ類ー竹中一夫コレクションー」.

3月12日発行 山陽新聞(都市圏)、「シカの骨格、剥製ずらり／倉敷・自然史博物館／生態理解へ標本製作」.

(5) 江田伸司：動物担当(5件)

6月21日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「北海道で観察し

た動物について」.

7月28日発行、山陽新聞(タウン)、「夏の満月の夜、岡山・犬島でカニが大量発生／この伝説は本当か」

12月20日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「ヤブサメのさえずりが聞こえるかについて」.

2月21日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「ハクセキレイについて」.

3月21日放送 エフエムくらしき、週刊くらしきハッピーレディオ(ナウマンの小部屋)「ナウマンの小部屋最終回について」.

15 学習用貸出標本の利用(計8件)

地学標本(岩石)	2件
地学標本(隕石)	1件
地学標本(鉱物)	2件
地学標本(化石)	2件
昆虫標本	1件

16 倉敷市立自然史博物館友の会の活動

(1) 会員計 747人(381組)(※令和7年3月31日現在)
個人227人、家族514人(148組)、賛助6組

(2) 役員(*は幹事兼務)

[会長] 吉岡勉.

[副会長] 榊原久美子、溝手啓子、山崎法子、片岡博行、古谷太一、中田太海、安原信一郎、狩山俊悟、高嶋幸慶.

[評議員] 青野孝昭、安達由莉*、泉川拓子*、磯野裕昭*、磯野倫広*、伊藤邦夫、稲神邦代*、入江和喜*、植松志帆*、植松蒼*、江田伸司*、榎本敬*、大島宏美*、大山望実*、奥島雄一*、小澤佑二、片岡法子*、片岡博行、片山久*、狩山俊悟、川崎嘉子*、木下延子*、木村浩子*、國忠高広*、古谷太一、小橋理絵子*、榊原久美子、坂本明弘*、島岡浩恵*、白神加奈子*、末長晴輝*、裾分由美子*、高嶋幸慶、武田寛生*、武田雅生*、武智泰史*、鐵慎太郎*、中田太海、中村雅江*、野島淑子*、橋本恵子*、橋本響*、橋本真由子*、原田愛*、廣瀬正明、藤野睦子*、松村真佐子*、溝手啓子、森下裕子*、安原信一郎、山崎法子、雪江祥貴*、吉岡勉.

[会計監査] 高橋元、守安敦.

(3) 自然観察会(*は博物館と共催、カッコ内は中学生以下)友の会行事のみ参加者数 計120(5)人.

4月21日 第701回自然観察会「自然保護センターの春」和気町田賀 岡山県自然保護センター、22(1)人.

5月4日 *第702回自然観察会「春の身近な植物観察」倉敷市本町 鶴形山

5月12日 *第703回自然観察会「高梁川流域自然たんけん(高梁市)」高梁市落合町原田 高梁自然公園

5 月 18 日 *第 704 回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし 2024 年 5 月」 倉敷市寿町

5 月 25 日 *第 705 回自然観察会「おかやま自然探訪(旧中央町)」 美咲町 両山寺周辺

6 月 1 日 第 706 回自然観察会「スゲ観察会」真庭市蒜山下和 津黒いきものふれあいの里、28 (0) 人.

6 月 22 日 *第 707 回自然観察会「ブッポウソウを観察しよう(鳥取)」 鳥取県

6 月 23 日 *第 708 回自然観察会「夏だ! 昆虫採集」 倉敷市玉島 円通寺公園

7 月 6 日 *第 709 回自然観察会「ダルマガエル観察会リターンズ」 倉敷市真備町辻田

7 月 13 日 *第 710 回自然観察会「ブッポウソウを観察しよう(岡山)」 吉備中央町・高梁市

7 月 27 日 *第 711 回自然観察会「セミの抜けがら調べ」 倉敷市酒津 酒津公園

8 月 24 日 *第 712 回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし 2023 年 8 月」 倉敷市寿町 倉敷みらい公園

10 月 6 日 *第 713 回自然観察会「第 29 回シダの世界」 鏡野町富西谷 白賀溪谷

9 月 7 日 *第 714 回自然観察会「高梁川流域花めぐり～西の尾瀬 鯉が窪湿原～」 新見市哲西町矢田 鯉が窪湿原

9 月 22 日 *第 715 回自然観察会「ミズアオイ観察会とネイチャーゲーム」 倉敷市八軒屋

10 月 5 日 第 716 回自然観察会「津黒のきのこ観察会」 真庭市蒜山下和 津黒いきものふれあいの里、6 (1) 人.

10 月 19 日 *第 717 回自然観察会「楽しい魚採り」 倉敷市酒津

10 月 26 日 *第 718 回自然観察会「秋の身近な植物観察」 倉敷市本町・鶴形山

11 月 16 日 *第 719 回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし 2024 年 11 月」 倉敷市寿町 倉敷みらい公園

12 月 15 日 *第 720 回自然観察会「鶴形山の生きもの観察(高梁川流域自然たんけん(倉敷市))」 倉敷市 鶴形山

12 月 22 日 *第 721 回自然観察会「龍王山の地学ハイキング」 倉敷市児島味野～児島赤崎 龍王山

1 月 4 日～5 日 特別企画「琵琶湖へオオワシに会いに行こう」 滋賀県琵琶湖、18 (0) 人.

1 月 19 日 第 722 回自然観察会「『かぜまち』の島・大多府島の自然」 備前市日生町 大多府島、19 (0) 人.

2 月 2 日 第 723 回自然観察会「コケ観察会」 岡山市北区日応寺、27 (3) 人.

3 月 8 日 *第 724 回自然観察会「倉敷みらい公園で生き物さがし 2025 年 3 月」 倉敷市寿町 倉敷みらい公園

3 月 9 日 *第 725 回自然観察会「倉敷市の鳥カワセミをさがそう!」 倉敷市真備町岡田

3 月 23 日 *第 726 回自然観察会「ミズアオイの種まきとネイチャーゲーム」 倉敷市加須山

- (4) 展示(博物館と共催)
- 10 月 25 日～12 月 4 日 特別陳列「第 32 回しぜんしくらしき賞作品展」
- 2 月 4 日～3 月 22 日 特別陳列「シカだらけー博物館にシカの標本が集まるまでー(みんなの動物ラボ)」
- (5) 博物館講座(博物館と共催)
- 6 月 22 日、7 月 7 日 「植物の採集方法と標本の作り方」
- 7 月 6 日 「昆虫標本の作り方」
- 8 月 18 日 博物館講座「学芸員研究紹介: 倉敷市の植生～1 年調べて分かったこと～」
- 1 月 19 日 「世界遺産 佐渡島の金山の相川金銀山の鉱床・鉱石について」
- 3 月 8 日 「学芸員研究紹介ー動物ー: ブッポウソウのお話」
- 3 月 20 日 「むしむし探検隊公开发表会」
- (6) スライド映写会
- 12 月 14 日 スライド会「旅先の自然と植物たち 5」 16 人.
- (7) 自然素材を使った手作り教室(博物館と共催)
- 4 月 14 日、5 月 12 日、7 月 14 日、8 月 18 日、10 月 13 日、11 月 10 日、12 月 8 日、2 月 9 日(原則毎月第 2 日曜日開催) 延べ 209 (118) 人
- (8) グループ活動
- 溜川ウォッチンググループ: 毎週金曜日(共催: 第 3 金曜日のみ倉敷市環境学習センター) 延べ 295 人
- ご近所バードウォッチンググループ: 毎月 1 回 延べ 107 人
- 倉敷みらい公園バードウォッチング: 毎月 1 回(共催: 倉敷市環境学習センター) 延べ 96 人
- シダグループ: 毎月 1 回 延べ 141 人
- 岡山県植物誌研究会: 随時 登録者 37 人
- 脊椎動物グループ: 随時 延べ 310 人
- (9) 第 32 回「しぜんしくらしき賞」(博物館と共催)
- 応募総数: 26 点
- 作品展会期: 10 月 25 日～12 月 4 日
- (10) こどもの日スペシャル(博物館と共催)
- 5 月 5 日
- (11) 第 23 回 自然史博物館まつり(博物館と共催)
- 11 月 2、3 日
- (12) 会報「しぜんしくらしき」発行
- 6 月 1 日 127 号、10 月 1 日 128 号、2 月 1 日 129 号.

(13) 連絡誌「倉敷市立自然史博物館友の会ニュース」の発行
 4 月 13 日 388 号、5 月 11 日 389 号、6 月 8 日 390 号、7 月 13 日 391 号、8 月 10 日 392 号、9 月 14 日 393 号、10 月 12 日 394 号、11 月 9 日 395 号、12 月 14 日 396 号、1 月 11 日 397 号、2 月 8 日 398 号、3 月 8 日 399 号。

(14) 総会の開催
 4 月 21 日

(15) 幹事会の開催
 4 月 13 日、5 月 11 日、6 月 8 日、7 月 13 日、8 月 10 日、9 月 14 日、10 月 12 日、11 月 9 日、12 月 14 日、1 月 11 日、2 月 8 日、3 月 8 日。

(16) 収益事業
 図書、自然観察用品、昆虫器具等のあっせん、バザー。

(17) その他
 ホームページ、メーリングリスト、Facebook、Instagram、X の管理・運営

V 庶務

1 沿革

昭和 53 年 8 月 18 日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会（13 名）設置

昭和 55 年 3 月 13 日 倉敷市庁舎等跡地利用協議会より、倉敷市庁舎等は「新しい文化施設を創設する気構えで、積極的に取り組む必要がある」との答申が出される

昭和 56 年 2 月 3 日 倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会（13 名）設置

昭和 57 年 3 月 2 日 旧水道局庁舎を自然史博物館として改造することが、倉敷市議会旧倉敷市庁舎跡地利用並びに周辺開発特別委員会で確定

昭和 57 年 10 月 1 日 自然史博物館基本構想並びに展示基本構想の策定を学識経験者（4 名）に委託

昭和 57 年 10 月 19 日 自然史博物館基本構想確定

昭和 57 年 11 月 27 日 自然史博物館展示構想確定

昭和 58 年 11 月 3 日 倉敷市立自然史博物館開館

平成 4 年 1 月 26 日 倉敷市立自然史博物館友の会発足

平成 6 年 3 月 27 日 開館 10 周年記念建物 1 階増設並びに改装工事完成

平成 9 年 2 月 4 日 博物館法第 12 条の規定による登録博物館

平成 15 年 3 月 21 日 第 2 展示室展示更新完成

平成 16 年 3 月 20 日 第 3 展示室展示更新完成

平成 17 年 3 月 20 日 第 4 展示室展示更新完成

平成 18 年 3 月 21 日 第 1 展示室展示更新完成

平成 22 年 4 月 1 日 倉敷消防署大高出張所跡地を倉敷市歴史資料整備室から移管し、倉敷市立自然史博物館大高仮収蔵庫として使用開始

令和 5 年 3 月 「ライフパーク倉敷リニューアル及び新自然史博物館整備基本方針」策定

令和 5 年 11 月 14 日 博物館法第 11 条の規定による登録博物館（博物館法改正による再登録）

令和 6 年 12 月 「新自然史博物館・ライフパーク倉敷

整備基本計画」策定

2 各室現有面積（単位：㎡）現有面積合計 3,263.08

(1) 展示室 (969.48)	
エントランスホール	118.16
常設展示室（第 1 展示室）	200.09
常設展示室（第 2 展示室）	256.83
常設展示室（第 3 展示室）	169.28
常設展示室（第 4 展示室）	155.16
特別展示室	69.96
(2) 調査研究 (184.24)	
研究室	115.48
工作室	45.56
写真室	11.85
暗室	11.35
(3) 収蔵庫 (488.87)	
第 1 収蔵庫（動物、植物）	169.83
第 2 収蔵庫（地学）	62.25
液浸標本収蔵庫	18.69
図書文献室	47.30
大高仮収蔵庫（敷地面積 708.10）	190.80
仮収蔵スペース（市内小学校教室 4 部屋、体育館、倉庫）	
(4) 教育普及 (157.98)	
学習コーナー	47.71
ミニ水族館	14.37
講義室	95.90
(5) 庶務 (182.11)	
連絡室	35.88

事務室	57.59
会議室	55.45
倉庫	33.19

(6) 機械設備 (281.59)

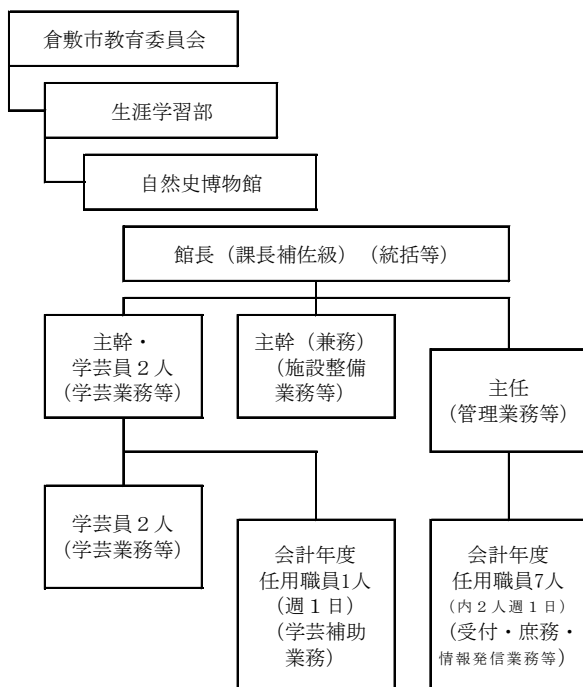
機械室 (地階)	180.86
機械室 (収蔵庫用空調設備)	19.86
機械室 (屋階)	53.66
ボイラー室	20.25
エレベーター機械室	6.96

(7) その他 (998.81)

車庫	206.92
便所、廊下等	791.89

3 組織

(1) 組織図



(2) 職員 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

館長	杉本紀明
主幹・学芸員	奥島雄一 (昆虫分野)
主幹・三谷潤二郎 (兼務)	
主幹・学芸員	武智泰史 (地学分野)
主任	萩原知博
学芸員	鐵慎太郎 (植物分野)
学芸員	江田伸司 (動物分野)
会計年度任用職員	赤星浩
会計年度任用職員	泉川拡子
会計年度任用職員	三上美姫
会計年度任用職員	池田愛奈
会計年度任用職員	江口真由美
会計年度任用職員	三島あゆみ (受付、土日祝)

会計年度任用職員 村井敬子 (受付、土日祝)

会計年度任用職員 岡杏花 (学芸補助、土日)

(3) 倉敷市立自然史博物館協議会委員 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

[任期: 令和 5 年 12 月 1 日 ~ 令和 7 年 11 月 30 日]

碓 京子 高梁市成羽美術館学芸員

石垣 忍 岡山理科大学恐竜学博物館館長、岡山理科大学研究・社会連携機構 古生物学・年代学研究センター特担教授

小野恭一 倉敷市立黒崎中学校長

片岡博行 社会医療法人創和会 重井薬用植物園長

末宗安之 岡山県野生動植物調査検討会委員、倉敷昆虫同好会会員

中西公仁 倉敷市議会市民文教委員会委員

西山圭子 「親育ち応援学習プログラム」ファシリテーター

宮原勝志 倉敷市立児島小学校長

山野ひとみ 倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科准教授

吉岡 勉 倉敷市立自然史博物館友の会会長

(敬称略、五十音順)

(4) 倉敷市立自然史博物館協議会の開催

7 月 3 日、9 月 19 日

4 委員、役員委嘱

(1) 杉本紀明: 館長

令和 5 年総会 ~ 令和 7 年総会 「岡山県博物館協議会理事」 岡山県.

(2) 武智泰史: 地学担当

令和 6 年 4 月 21 日 ~ 令和 8 年 4 月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和 4 年 4 月 21 日 ~ 令和 8 年 4 月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和 6 年 2 月 13 日 ~ 令和 8 年 2 月 「標本救済ネットワークスワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク.

(3) 鐵慎太郎: 植物担当

令和 6 年 4 月 21 日 ~ 令和 8 年 4 月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和 6 年 4 月 21 日 ~ 令和 8 年 4 月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会.

令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日 「岡山県野生動植物調査検討会植物部会協力員」 岡山県野生動植物調査検討会植物部会.

令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日 「植生学会編集委員」 植生学会.

令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日 「植生学会運営委員」 植生学会.

(4) 奥島雄一：昆虫担当

令和 4 年 4 月 24 日～令和 6 年 4 月 21 日，令和 6 年 4 月 21 日～令和 8 年 4 月 「倉敷市立自然史博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和 4 年 4 月 24 日～令和 6 年 4 月 21 日，令和 6 年 4 月 21 日～令和 8 年 4 月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和 5 年 1 月 1 日～令和 6 年 12 月 31 日，令和 7 年 1 月 1 日～令和 8 年 12 月 31 日 「日本甲虫学会評議員」 日本甲虫学会。

令和 5 年 1 月 1 日～令和 6 年 12 月 31 日，令和 7 年 1 月 1 日～令和 8 年 12 月 31 日 「日本甲虫学会和文誌編集委員」 日本甲虫学会。

令和 4 年 4 月 23 日～令和 7 年 4 月頃 「倉敷昆虫同好会幹事」 倉敷昆虫同好会。

令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日 「岡山県野生動植物調査検討会委員（昆虫部会副部会長）」 岡山県野生生物調査検討会。

令和 5 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日 「岡山県環境影響評価技術審査委員会委員」 岡山県環境文化部環境企画課。

令和 7 年 1 月 7 日～令和 8 年 3 月 31 日 「小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会委員」 国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所。

令和 4 年 8 月 1 日～令和 6 年 7 月 31 日，令和 6 年 8 月 1 日～令和 8 年 7 月 31 日 「岡山県自然環境保全審議会委員」 岡山県環境文化部自然環境課。

令和 6 年 2 月 13 日～令和 8 年 2 月の西日本自然史系博物館ネットワーク総会まで 「標本救済ネットケースワーカー」 西日本自然史系博物館ネットワーク

令和 3 年 7 月 1 日～令和 6 年 6 月 30 日，令和 6 年 7 月 1 日～令和 9 年 6 月 30 日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課。

令和 2 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日 「岡山県自然保護センター管理運営委員会委員」 公益財団法人 岡山県環境保全事業団。

令和 6 年 1 月 1 日～令和 7 年 12 月 31 日，「倉敷市環境審議会生物多様性部会委員」 倉敷市。

継続 「倉敷の自然をまもる会理事」 倉敷の自然をまもる会。

(5) 江田伸司：動物担当

令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日 「岡山県野生動植物調査検討会運営委員」 岡山県野生生物調査検討会。

令和 6 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日 「岡山県野生動植物調査検討会委員（動物部会会長）」 岡山県野生生物調査検討会。

継続 「日本野鳥の会岡山県支部幹事」 日本野鳥の会岡山県支部。

令和 6 年 4 月 21 日～令和 8 年 4 月 「倉敷市立自然史

博物館友の会評議員」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和 6 年 4 月 21 日～令和 8 年 4 月 「倉敷市立自然史博物館友の会幹事」 倉敷市立自然史博物館友の会。

令和 3 年 7 月 1 日～令和 6 年 6 月 30 日，令和 6 年 7 月 1 日～令和 9 年 6 月 30 日 「希少野生動植物種保存推進員」 環境省自然保護局野生生物課。

令和 4 年 6 月～令和 7 年 6 月 「佐藤清明資料保存会顧問」 佐藤清明資料保存会。

5 会議等派遣

(1) 奥島雄一：昆虫担当（4 回）

7 月 12 日 「令和 6 年度第 1 回岡山県自然保護センター管理運営委員会」 岡山県環境保全事業団。

8 月 19 日 「令和 6 年度第 1 回倉敷市環境審議会生物多様性部会」 倉敷市環境政策課。

1 月 28 日 「岡山県自然環境保全審議会」 岡山県自然環境保全審議会。

3 月 14 日 「岡山県野生動植物調査検討会令和 6 年度第 1 回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会。

(2) 江田伸司：動物担当（3 回）

10 月 31 日 「岡山県野生動植物調査検討会令和 6 年度第 1 回動物部会」 岡山県野生動植物調査検討会動物部会。

2 月 6 日 「岡山県野生動植物調査検討会令和 6 年度第 2 回動物部会」 岡山県野生動植物調査検討会動物部会。

3 月 14 日 「岡山県野生動植物調査検討会令和 6 年度第 1 回運営委員会」 岡山県野生動植物調査検討会。

6 広報活動

ホームページの公開および更新を行うほか、「広報くらしき」「イベントニュース」「パワフルキッズ」「FMくらしき」「友の会ニュース」等で PR を行っている。そのほか、新発見や話題性のあるニュースについては記者クラブへ広報資料を提供している。

ホームページビュー数：175,286 回（令和 7 年 3 月 31 日現在）。

メールマガジン登録数（LINE 配信含む）：1,802 件（令和 7 年 3 月 31 日現在）。

メールマガジン配信数：12 回。

X(旧 Twitter) フォロワー数：1,404 件（令和 7 年 3 月 31 日現在）。

X(旧 Twitter) 投稿数：253 回。

Instagram フォロワー数：1,283 件（令和 7 年 3 月 31 日現在）。

Instagram 投稿数：205 回。

7 職員の研修参加（博物館業務に関するもの）

(1) 鐵慎太郎：植物担当

10 月 18～20 日 「植生学会第 29 回大会」(筑波大学)、

植生学会。

(2) 奥島雄一：昆虫担当

6 月 22 日 第 43 回 S-Net 研究会「自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会」（オンライン） 国立科学博物館。

10 月 30 日 Innovate Museum 研修「自然史標本の保存と活用 SPNHC・TDWG 沖縄大会を日本の博物館にどうかすか」（オンライン） 大阪市立自然史博物館。

11 月 16～17 日 「日本甲虫学会第 14 回大会・日本昆虫分類学会第 27 回大会」（東京都立大学）、 日本甲虫学会・日本昆虫分類学会。

1 月 11 日 第 24 回日本分類学会連合公開シンポジウム「自然の記録を未来へ、生物標本の採集・作製・保管の多様性」（オンライン） 日本分類学会連合。

2 月 3 日 シンポジウム「自然史博物館の資料と保存～コレクションの保全を視野に」（オンライン） 西日本自然史系博物館ネットワーク。

2 月 15 日 公開シンポジウム「動物科学の最前線：めくるめく多様性を科学する（3）」（オンライン） 日本学術会議基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同動物科学分科会。

2 月 21 日 フォーラム「ポスト・エキヒューム S の資料保存を考える」（オンライン） 東京文化財研究所。

2 月 23 日 第 44 回 S-Net 研究会「自然史標本情報発信に関する研究会－自然史博物館の画像公開を考える：実務とシステムの両面から－」（オンライン） 国立科学博物館。

3 月 21 日 令和 6 年度研究協議会講演会「収蔵庫問題について考える」（オンライン） 日本博物館協会。

8 無料開放

(1) 市内の小・中学生対象

いきいきパスポート利用者数 延べ421名
高梁川流域パスポート利用者数 延べ270名

(2) 一般対象

5 月 5 日 こどもの日 494名
11 月 3 日、4 日 博物館まつり 3,141名

9 表彰等

武智泰史 「令和 6 年度日本博物館協会顕彰」 日本博物館協会（11月27日）。

10 予算・決算（単位：円）

【歳入】

科目名称	予 算 現 額	決 算 額	備考
施設使用料	1,000	3,740	
自然史博物館観覧料	1,343,000	1,639,230	
	611,000	584,700	特別展観覧料
	732,000	1,054,530	常設展観覧料
拾得金返還雑入	0	0	
労働保険料精算雑入	0	6,197	
観光休憩所水道料雑入	163,000	181,900	
書籍売払雑入	436,000	258,500	
授業目的公衆送信補償金	0	186,990	
講師等派遣雑入	16,000	144,000	
合 計	1,959,000	2,420,557	

【歳出】

科目名称	予 算 現 額	決 算 額	備考
報酬	8,441,000	8,411,268	
	114,000	85,200	協議会委員報酬
	8,327,000	8,326,068	会計年度任用職員分
給料	23,963,000	23,739,900	
職員手当等	14,706,000	14,432,992	
	11,834,000	11,561,448	職員分
	2,872,000	2,871,544	会計年度任用職員分
共済費	9,288,312	9,056,010	
	7,551,000	7,318,698	職員分
	1,737,312	1,737,312	会計年度任用職員分
報償費	221,000	219,964	
旅費	21,000	11,840	
需用費	13,515,338	11,010,822	
	1,386,650	1,374,379	消耗品費
	5,000	3,672	食糧費
	2,631,688	1,637,660	印刷製本費
	9,273,000	7,776,184	光熱水費
	209,000	209,000	修繕料
	6,000	5,965	飼料費
	4,000	3,962	医薬材料費
役務費	413,000	251,904	
	232,000	130,477	通信運搬費
	181,000	121,427	手数料
委託料	6,125,000	5,830,701	
使用料及び賃借料	219,000	124,416	
原材料費	42,350	42,350	
備品購入費	215,000	117,480	
負担金補助及び交付金	54,000	54,000	
合 計	77,224,000	73,303,647	

※その他の施設管理費（委託料；中央図書館支払分）

16,796（千円）

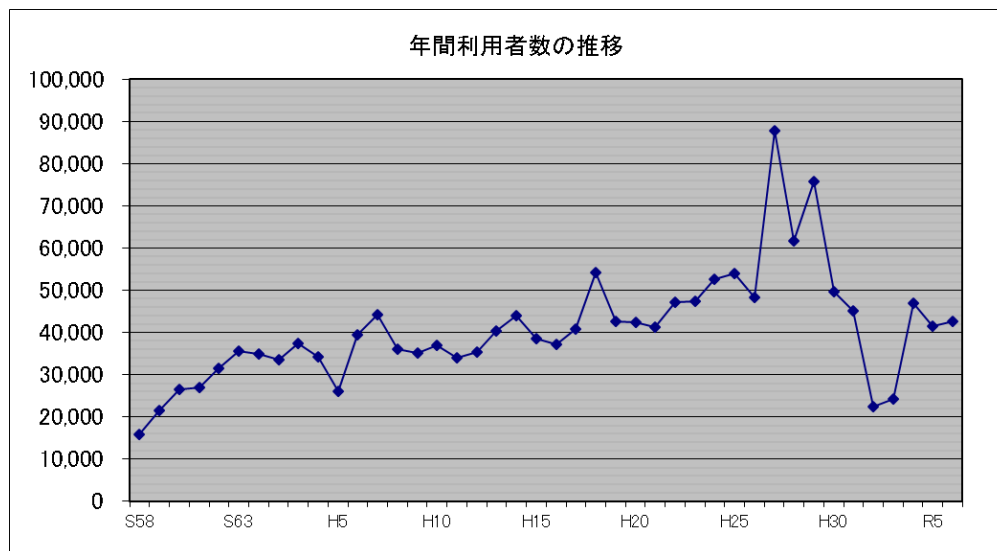
11 年間利用者数

(1) 令和6年度利用者数(単位:人)

月	開館日数	有 料				有料入館者合計	有料入館者のうち外国人	無 料																無料入館者合計	館内利用者 (※1)	来館者合計 (A)	館外利用者 (B)	利用者合計 (A+B)
		通常		割引				個人					団体						特別観覧	乳幼児								
		一般	大学生	一般	大学生			高齢者	障がい者	小学生	中学生	高校生	保育・幼稚園児	小学生	中学生	支援学校生	高校生	その他										
4	25	685	37	1	39	762	29	127	49	243	63	69	0	0	0	0	0	56	25	227	859	686	2,307	0	2,307			
5	27	755	36	1	32	824	22	131	27	161	39	74	0	0	0	0	26	0	496	208	1,162	662	2,648	183	2,831			
6	25	854	53	0	0	907	29	137	41	249	30	42	51	24	0	0	33	0	23	344	974	674	2,555	197	2,752			
7	26	1,110	52	1	32	1,195	42	154	74	497	61	51	42	0	0	0	11	102	43	471	1,506	892	3,593	260	3,853			
8	27	1,949	110	5	0	2,064	49	233	137	773	133	87	0	0	25	0	0	269	61	752	2,470	994	5,528	171	5,699			
9	25	936	115	23	0	1,074	29	116	57	297	30	29	80	127	0	18	0	20	38	371	1,183	581	2,838	113	2,951			
10	27	606	35	2	24	667	45	123	60	179	56	31	190	1,098	0	41	30	0	29	253	2,090	761	3,518	190	3,708			
11	26	574	36	1	0	611	36	153	44	391	40	20	156	408	134	14	48	0	3,164	213	4,785	478	5,874	49	5,923			
12	23	554	52	2	45	653	37	108	36	129	23	25	101	0	0	0	44	20	30	217	733	584	1,970	70	2,040			
1	23	599	60	11	47	717	53	80	73	199	29	20	62	539	114	0	0	0	33	242	1,391	518	2,626	19	2,645			
2	24	1,009	93	3	27	1,132	77	112	78	345	34	33	243	1,129	16	0	0	21	24	433	2,468	572	4,172	27	4,199			
3	26	922	149	26	0	1,097	32	181	77	254	133	54	177	0	214	45	0	226	34	378	1,773	771	3,641	99	3,740			
合計	304	10,553	828	76	246	11,703	480	1,655	753	3,717	671	535	1,102	3,325	503	118	192	714	4,000	4,109	21,394	8,173	41,270	1,378	42,648			

- ・特別観覧：招待券持参者、友の会会員、無料開放日來館者等
- ・館内利用者(※1)：講義室での各種講座参加者、学習コーナー等利用者
- ・来館者合計(A)：有料入館者合計+無料入館者合計+館内利用者(※1)
- ・館外利用者(B)：自然観察会等参加者

(2) 年間利用者数の推移(単位:人)



(3) 学生個人・団体の市内外別内訳(単位:人)

月	個人									団体																	
	小学生			中学生			高校生			保育・幼稚園			小学校			中学校			支援学校			高校			その他		
	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計
4	118	125	243	29	34	63	5	64	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	46	56	
5	97	64	161	5	34	39	20	54	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	26	0	0	0	
6	160	89	249	24	6	30	8	34	42	51	0	51	24	0	24	0	0	0	0	0	13	20	33	0	0	0	
7	314	183	497	29	32	61	30	21	51	0	42	42	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	11	28	74	102	
8	395	378	773	47	86	133	47	40	87	0	0	0	0	0	0	0	25	25	0	0	0	0	0	40	229	269	
9	114	183	297	17	13	30	6	23	29	80	0	80	0	127	127	0	0	0	0	18	18	0	0	0	20	20	
10	91	88	179	12	44	56	14	17	31	66	124	190	448	650	1,098	0	0	0	0	41	41	0	30	30	0	0	
11	325	66	391	18	22	40	7	13	20	126	30	156	188	220	408	15	119	134	0	14	14	48	0	48	0	0	
12	71	58	129	14	9	23	12	13	25	22	79	101	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	44	0	20	20	
1	88	111	199	14	15	29	11	9	20	62	0	62	463	76	539	114	0	114	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	240	105	345	22	12	34	14	19	33	243	0	243	1,129	0	1,129	16	0	16	0	0	0	0	0	9	12	21	
3	119	135	254	99	34	133	21	33	54	151	26	177	0	0	0	214	0	214	0	45	45	0	0	0	109	117	226
計	2,132	1,585	3,717	330	341	671	195	340	535	801	301	1,102	2,252	1,073	3,325	359	144	503	0	118	118	98	94	192	196	518	714

- ・その他：児童クラブ、子ども会等

【倉敷市立自然史博物館中期計画の点検(R6～10年度)】												
使命	着眼点	番	評価指標	参考値	現状値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	凡例(累計以外は年度集計)
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度		
集めて未来につなげる (資料収集・保管)	博物館は、倉敷市とそれにつながる地域の自然の情報拠点として、人類共通の財産である標本・文献等の資料を積極的に収集・保管し、次世代に引き継ぐことで、過去から現在そして未来への懸け橋となります。	1	登録済標本総点数	542,762	547,790	564,023					650,000	
		1-1	登録済標本点数(地学)	12,040	12,552	12,833					13,600	
		1-2	登録済標本点数(植物)	252,859	255,242	257,578					280,000	
		1-3	登録済標本点数(昆虫)	238,948	241,075	245,810					311,000	
		1-4	登録済標本点数(動物)	38,915	38,921	47,802					45,400	
		2	収蔵資料利用件数(来館・貸出)	151	175	394					200	文献資料の利用を含む
		3	収蔵資料を引用した著作件数	21	17	33					30	
		4	収蔵庫見学会開催回数	37	27	20					40	単独開催＋イベント時同時開催
教養文化の向上をめざす (展示・教育普及)	博物館は、自然に関する調査研究を行い、その成果を展示や教育普及活動により発信し、学習機会を提供することで、人々の自然への興味・関心や学習意欲を高め、教養文化の向上に寄与します。	5	入館者数	37,964	30,891	33,097					40,000	来館者合計－館内利用者
		6	入館者のうち高校生以下の人数	17,461	14,490	14,272					18,800	
		7	学校園等団体利用件数	119	164	177					200	
		8	特別展開催日平均入館者数	211	134	127					200	入館者数／会期中開館日数
		9	自然観察会開催回数	16	18	22					20	
		10	自然観察会参加者数	712	944	853					1,000	
		11	講座・教室等開催回数	28	30	24					30	博物館講座、標本相談会、むしむし探検隊、地学教室、手作り教室
		12	講座・教室等参加者数	796	875	730					1,000	博物館講座、標本相談会、むしむし探検隊、地学教室、手作り教室
		13	自然史博物館まつり来場者数	2,007	2,096	3,141					3,000	
		14	自然にふれたり、学んだりする活動に参加している子どもの数	1,586	1,270	1,016					1,500	屋外・屋内行事の中学生以下の参加者数(倉敷市教育振興基本計画指標より)
人づくりを担う (人材育成＋収集、教育)	博物館は、その活動・事業を通じて様々な世代の人々の多様な学習やボランティア活動を支援し、自然と人が共生し未来につながる持続可能な社会の実現に貢献する人材を育てます。	15	標本作製・整理協力延べ人数	600	744	697					800	脊椎動物グループ、動物、昆虫、植物
		16	中高生職場体験受入れ人数	19	13	13					20	
		17	大学生実習・インターン受入れ人数	7	6	8					10	
		18	レファレンス件数	1,015	890	850					1,000	査読・校閲・研究協力含む
連携して共に成長する (協働＋教育)	博物館は、学校、地域や博物館友の会等の多様な主体と連携、協力して、専門的力量とともに総合的な力を高め、活動の充実・発展を図ります。	19	まちかど博物館申請件数	22	22	34					30	
		20	まちかど博物館貸出台数	53	46	68					70	新規及び更新貸出し台数
		21	学習用標本(地学・昆虫)貸出件数	1	9	8					15	
		22	友の会会員数	780	793	747					900	
		23	出前講座等派遣回数	30	25	19					30	出前講座＋講師派遣
		24	出前講座等参加者数	2,004	867	645					1,300	出前講座＋講師派遣
より魅力的な博物館をめざす (管理運営＋広報)	博物館は、人的・物的・財政的な基盤を確保し、適切に管理・運営します。さらに、事業の評価・改善や広報活動を通じて、利用者サービスや社会的価値の向上に努め、より魅力的な博物館をめざします。	25	館外刊行物著作件数	119	68	79					140	
		26	マスコミ報道件数	71	58	55					90	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等(イベント案内・寄稿除く)
		27	ホームページアクセス数	176,108	172,337	175,286					180,000	Google analyticsによるページビュー数
		28	メールマガジン登録者数	1,396	1,631	1,802					2,000	
		29	X年間投稿数	441	226	253					250	
		30	Xフォロー数	1,105	1,225	1,404					1,700	
		31	Instagram年間投稿数	115	164	205					200	
		32	Instagramフォロー数	854	1,017	1,283					1,600	

○倉敷市立自然史博物館条例

昭和58年 9 月22日
条例第28号

(目的及び設置)

第1条 自然史に関する科学について、資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究及び普及指導を行い、市民の教養文化の向上に寄与することを目的として本市に自然史博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
倉敷市立自然史博物館	倉敷市中央2丁目6番1号

(事業)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 自然史に関する実物、標本、文献、図書、図表、写真、フィルム等(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示すること。
- (2) 博物館資料を利用させること。
- (3) 自然史に関する科学についての調査研究並びに博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
- (4) 自然史に関する講習会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (5) 他の博物館、学校、研究所等と連携協力し、刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借等を行うこと。
- (6) その他自然史に関する科学に関する事業

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(常設展及び特別展)

- 第5条 博物館は、博物館資料を常時展示する常設展及び特別展を開催する。
- 2 常設展又は特別展を観覧しようとする者は、別表第1又は別表第2に定める観覧料を納付しなければならない。
- 3 前項の観覧料は、観覧の際、納付するものとする。

(博物館資料の利用)

- 第6条 博物館は、その所蔵する博物館資料を学術的研究等のために利用させることができる。
- 2 前項の博物館資料を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 3 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。

(講義室の使用)

- 第7条 自然史に関する科学についての講習会、研究会等のため、博物館に講義室を設置する。
- 2 教育委員会は、前項の設置目的又は博物館の業務に支障を及ぼさない範囲内において、講習会、研究会等のため、講義室を使用させることができる。
- 3 講義室を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 4 教育委員会は、前項の許可に当たり、管理上必要な条件を付することができる。
- 5 第3項の許可を受けた者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。
- 6 前項の使用料は、その許可の際、納付しなければならない。ただし、教育委員会において特別の理由があると認めるときは、別に納期限を定めて納付させることができる。

(使用料等の還付)

- 第8条 既納の観覧料及び使用料(以下「使用料等」という。)は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を教育委員会規則で定めるところにより還付することができる。
- (1) 災害その他使用者の責めに帰することができない理由により使用不能となつたとき。
- (2) 使用者が使用開始前に使用の取消しを届け出た場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- (3) 使用者が使用開始前に使用許可の変更を申請した場合で、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会において相当の理由があると認めるとき。

(使用料等の減免)

第9条 教育委員会は、公益上必要があると認めるときは、使用料等を減免することができる。

(目的外使用等の禁止)

第10条 第6条第2項又は第7条第3項の許可を受けた者は、その許可を受けた目的以外に使用し、又はその権利を他に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(入館の制限等)

- 第11条 教育委員会は、次の各号の一に該当する者に対しては、博物館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。
- (1) 酔酩して他人に迷惑をかけるおそれのある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれのある物品又は動物の類を携行する者
- (3) 許可なくして営業行為をし、又は張り紙若しくは広告を行う者
- (4) 施設又は博物館資料を損傷するおそれがあると認める者
- (5) 秩序又は風俗を乱すおそれがあると認める者
- (6) その他管理上支障があると認める者

(損害賠償)

第12条 施設又は博物館資料をき損又は滅失した者は、教育委員会の指示に基づき、これを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会においてやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(博物館協議会の設置)

- 第13条 博物館に倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。
- 2 協議会は、委員15人以内で組織する。
- 3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。
- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験を有する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任することができる。

(協議会の職務)

第14条 協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し、意見を述べる機関とする。

(委任)

第15条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

- (施行期日)
- 1 この条例の施行期日は、規則で定める。
- (昭和58年10月規則第53号で、同58年11月3日から施行)

(関係条例の改正)

- 2 特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例(昭和42年倉敷市条例第23号)の一部を次のように改正する。
- 別表中「

展示美術館協議会委員	同 5,000円	同
------------	----------	---

」の次に「

自然史博物館協議会委員	同 5,000円	同
-------------	----------	---

」を加える。

- 附 則(昭和62年 6 月30日条例第43号)
- この条例は、公布の日から施行する。

- 附 則(平成3年 9 月30日条例第17号)
- (施行期日)

- 1 この条例は、平成3年10月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

- 附 則(平成9年 3 月25日条例第4号)
- (施行期日)

- 1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後に使用等の許可を受けた

者について適用し、同日前に使用等の許可を受けた者については、なお従前の例による。

- 附 則(平成12年 3 月24日条例第28号)
- この条例は、平成12年4月1日から施行する。

- 附 則(平成18年 3 月24日条例第39号)
- この条例は、平成18年4月1日から施行する。

- 附 則(平成24年 3 月16日条例第11号)
- この条例は、平成24年4月1日から施行する。

- 附 則(平成25年12月26日条例第50号抄)
- (施行期日)
- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)

- 6 この条例(第1条及び第34条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

- 附 則(平成31年 3 月22日条例第3号抄)
- (施行期日)

- 1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。
- (その他の使用料等に係る経過措置)
- 6 この条例(第2条及び第32条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

- 附 則(令和6年12月17日条例第61号)
- (施行期日)

- 1 この条例は、令和7年4月1日から施行する。
- (経過措置)
- 2 この条例による改正後の各種使用料等に係る規定は、この条例の施行の日以後の使用許可に係る使用料等について適用し、同日前の使用許可に係る使用料等については、なお従前の例による

別表第1 (第5条関係)
常設展観覧料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回 150円	1人1回 100円
大学生	1人1回 50円	1人1回 30円
高校生以下	無料	

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第2 (第5条関係)
特別展観覧料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	1人1回につき550円の範囲内で教育委員会が別に定める額	
大学生		
高校生以下		

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第3 (第7条関係)
講義室使用料

使用場所／使用時間	基本使用料			冷暖房の使用
	午前9時から 午前12時まで	午後1時から 午後5時まで	午前9時から 午後5時まで	
講義室	660円	990円	1,650円	1時間につき 770円

備考

- 1 冷暖房の使用時間の計算については、30分未満は切り捨て、30分以上は1時間として取り扱うものとする。
- 2 金額には消費税及び地方消費税を含む。

○倉敷市立自然史博物館条例施行規則

昭和58年10月14日
教育委員会規則第15号

(趣旨)

第1条 この規則は倉敷市立自然史博物館条例(昭和58年倉敷市条例第28号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 倉敷市立自然史博物館(以下「博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後5時15分までとする。ただし、博物館への入館は閉館時刻の30分前までとする。
2 前項の規定にかかわらず、館長において必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。
(1) 月曜日(この日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い同法に規定する休日でない日とする。)
(2) 12月28日から翌年の1月4日まで。
2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧券の交付)

第4条 条例第5条の規定により観覧料を納付したものに對して観覧券を交付するものとする。
2 教育委員会は必要と認めるとき、特別観覧券又は優待券を発行することができる。
3 観覧券の発売時間は、開館時刻から閉館時刻の30分前までとする。

(入館者の遵守事項)

第5条 入館者は、条例に規定するもののほか、次の事項を守らなければならない。
(1) 小学校就学前の幼児は、保護者又はそれに相当するものと同伴すること。
(2) 所定の場所以外で、喫煙又は飲食をしないこと。
(3) その他館長が必要と認め指示した事項

(資料の寄贈)

第6条 博物館に資料を寄贈しようとするもの(以下「寄贈者」という。)は、所定の寄贈申請書を館長に提出しなければならない。
2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として、適当と認められるときは、館長は、所定の受領書を当該寄贈者に交付し、寄贈を受けるものとする。

(資料の寄託)

第7条 博物館に資料を寄託しようとするもの(以下「寄託者」という。)は、所定の寄託申請書を館長に提出しなければならない。
2 前項の申請について、当該資料が博物館の資料として適当と認められるときは、館長は所定の資料受託書を当該寄託者に交付し、寄託を受けるものとする。

(資料の返還)

第8条 寄託者が寄託期間中に、資料の返還を請求するときは、それが適当と認められるとき、館長に所定の返還申請書を提出し、資料受託書と引き替えに資料を返還するものとする。

(資料の貸し出し)

第9条 条例第6条の規定により、博物館の資料貸し出しを受けようとする者は、所定の貸出許可申請書を館長に提出しなければならない。
2 前項の申請について、当該資料の貸し出しを適当と認められるときは、館長は当該申請者に対し所定の貸出許可書を交付し、資料を貸し出すものとする。
3 資料の貸し出し期間は30日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めたときはこの限りでない。

(講義室の使用)

第10条 条例第7条の規定により講義室の使用許可を受けようとする者は、所定の使用許可申請書を館長に提出しなければならない。
2 前項の使用許可をしたときは、館長は所定の使用許可書を当該申請者に交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第11条 前条の規定により使用許可を得たものは、次の事項を守らなければならない。
(1) 定められた場所以外で火気を使用しないこと。
(2) 許可を受けた設備以外は使用しないこと。
(3) 使用する施設及び附属設備を管理し、取り締りの責任をもつこと。
(4) その他館長が必要と認め指示した事項

(使用料等の還付)

第12条 条例第8条ただし書の規定により、使用料又は観覧料の還付を受けようとする者は、所定の還付申請書を教育委員会に提出しなければならない。
2 使用料又は観覧料の還付率は、次のとおりとする。
(1) 条例第8条第1号に該当する場合 100パーセント
(2) 条例第8条第2号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する使用取消届を提出したとき50パーセント
(3) 条例第8条第3号に該当する場合で、使用日の2日前までに第8条に規定する変更許可申請がなされたとき 変更前と変更後の使用料の差額の50パーセント
(4) 条例第8条第4号に該当する場合 教育委員会が相当であると認める率

(使用料等の減免)

第13条 条例第9条に規定する使用料等の減免については、次のとおりとする。
(1) 小学校、中学校、高等学校及びこれに準ずる学校の教職員が、学習活動のため児童又は生徒を引率して観覧するとき 観覧料の全額を免除
(2) 65歳以上の老人及び心身障害者が観覧するとき心身障害者の場合はその介護員1名を含めて観覧料の全額を免除
(3) 市又は市教育委員会が主催若しくは共催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除
(4) 社会教育関係団体が主催する自然史に関する事業で講義室を使用するとき 使用料の全額を免除
(5) その他教育委員会が相当と認めるとき 教育委員会が相当と認める額を免除
2 前項第1号、第3号、第4号及び第5号に該当する場合は、教育委員会に所定の減免申請書を提出しなければならない。

(博物館協議会の運営)

第14条 条例第13条及び第14条に規定する倉敷市立自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長、副会長を置く。
2 会長、副会長は委員の互選により定める。
3 会長は会務を総理し、協議会を代表し、会議の議長となる。
4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
5 会議は会長が招集する。
6 協議会は委員の過半数の出席により開催し、議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長が裁決する。
7 協議会に専門部会を置くことができる。
8 協議会の庶務は、博物館において行なう。
9 前項までに規定するもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

(報告)

第15条 館長は、その月の博物館の利用状況について、翌月5日までに、文書により教育長に報告しなければならない。

(服務、文書の取り扱い等)

第16条 職員の服務、文書の取り扱い等については、倉敷市教育委員会事務局処務規則(昭和47年倉敷市教育委員会規則第14号)の例による。

(その他)

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、昭和58年11月3日から施行する。

附 則

則(昭和62年3月25日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則

則(平成3年6月25日教委規則第4号)

この規則は、平成3年7月1日から施行する。

附 則

則(平成8年1月11日教委規則第2号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則

則(平成12年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

則(平成14年3月25日教委規則第6号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則

則(平成17年7月27日教委規則第22号)

この規則は、平成17年8月1日から施行する。

附 則

則(平成17年12月20日教委規則第36号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則

則(平成18年3月24日教委規則第9号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

○特別職の職員で非常勤のものの報酬および費用弁償に関する条例 (一部抜粋)

昭和42年2月1日
条例第23号

(報酬)

第2条 報酬の額は別表のとおりとする。

別表(第2条関係)

区分	報酬の額
自然史博物館 協議会委員	日額 7,100円

○利用案内

[開館時間]

9時～17時15分(入館は16時45分まで)

[休館日]

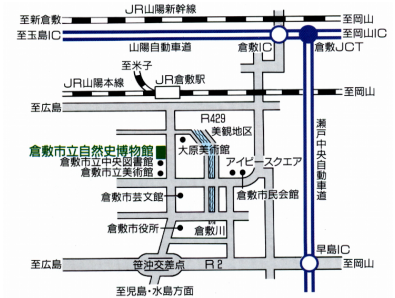
月曜日(祝日または振替休日の時は、その翌日)、年末年始(12月28日～1月4日)、臨時休館日。

[観覧料]

一 般：150円(100円)
大学生：50円(30円)
高校生以下：無料
・かつこ内は20名以上の団体の場合。
・65歳以上の方、障がい者とその介護者1名は無料。

[交通案内]

・自家用車の場合は付近の有料駐車場をご利用ください。
・JR倉敷駅より、南へ徒歩約15分、または路線バスで「大原美術館前」下車。



倉敷市立自然史博物館の運営方針

平成 30 年 12 月 7 日

1 理念（コンセプト）

倉敷市立自然史博物館は、郷土倉敷とそれにつながる地域の自然と人との関わりについて、市民の関心や理解を深め、学習を支援することにより、市民の教養と地域文化の向上に寄与します。

2 使命（ミッション）—理念実現に向けて—

倉敷市立自然史博物館（以下「博物館」という。）は、理念の実現に向けて、次に掲げる使命を持って、資料の収集・保管、調査研究、展示及び教育普及活動を推進します。

○集めて未来につなげる

博物館は、倉敷市とそれにつながる地域の自然の情報拠点として、人類共通の財産である標本・文献等の資料を積極的に収集・保管し、次世代に引き継ぐことで、過去から現在そして未来への懸け橋となります。

○教養文化の向上をめざす

博物館は、自然に関する調査研究を行い、その成果を展示や教育普及活動により発信し、学習機会を提供することで、人々の自然への興味・関心や学習意欲を高め、教養文化の向上に寄与します。

○人づくりを担う

博物館は、その活動・事業を通じて様々な世代の人々の多様な学習やボランティア活動を支援し、自然と人が共生し未来につなぐ持続可能な社会の実現に貢献する人材を育てます。

○連携して共に成長する

博物館は、学校、地域や博物館友の会等の多様な主体と連携・協力して、専門的力量とともに総合的な力を高め、活動の充実・発展を図ります。

○より魅力的な博物館をめざす

博物館は、人的・物的・財政的な基盤を確保し、適切に管理・運営します。さらに、事業の評価・改善や広報活動を通じて、利用者サービスや社会的価値の向上に努め、より魅力的な博物館をめざします。

倉敷市立自然史博物館の資料収集方針

平成 30 年 12 月 7 日

倉敷市立自然史博物館は、その使命（ミッション）に基づき、資料を収集・保管するものとし、収集対象資料は次のとおりとする。

収集対象は、自然史関連の実物標本、レプリカ、文献、画像、映像等とし、次のいずれかに該当するものとする。

1 地勢的・気候的又は生物地理学的に倉敷市及びそれに関連する地域に関する資料

〔説明〕

地質・地形及び生物相に関するもので、過去から現在、未来へと変遷の検証が可能なものの収集に努める。また、収集地域には学術的見地から、当市と地勢的・気候的に関連した近隣地域（高梁川流域・山陽・瀬戸内など）又は生物地理学的に関連のある地域を含めるものとする。

2 展示を中心とした教育普及又は研究に活用できる資料

〔説明〕

地球の歴史と生命の進化及び生物多様性といった学校教育や社会で重視されている分野の研究・教育普及に活用できる資料の収集に努める。

倉敷市立自然史博物館報 第34号（令和6年度）

令和7年7月1日発行

発行者 倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電 話 (086)425-6037

F A X (086)425-6038

E-mail: musnat@city.kurashiki.okayama.jp

<https://www.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/>